

県立長野図書館概要

令和4年（2022年）4月



県立長野図書館

目次

I 令和4年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～	1
2 取組方針等	2
3 主要事業計画	3
4 組織及び事務分掌	4
5 予算	5

II 令和3年度事業実績

1 事業概要	7
2 展示・企画展の実施	8
3 調査相談の状況	10
4 市町村立図書館等との協働、支援	12
5 フォーラム・研修会の開催	14
6 信州・学び創造ラボ	17
7 新型コロナウイルス感染症への対応について	19
8 令和3年度主要事業実施状況（図書館協議会資料から）	20

III 統計資料（令和3年度実績）

1 利用状況	24
2 図書館資料の状況	30

IV 県立長野図書館協議会

32

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況	33
2 県立長野図書館の沿革	34
3 施設概要	36
4 利用案内	37

I 令和4年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～

2021年7月16日
県立長野図書館

使命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、
信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、
個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的な普遍的な価値を支えるため、
人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

展望 (Vision)

- ① 「知る」・・・情報の改革：いつでもどこからでも、時間と空間を越えて、すべての人々が等しく情報を入力し、活用し、成果を発信できるよう、人生を豊かにする創造的な学びの情報基盤を整え、情報格差を解消し、次世代へと継承していきます。
- ② 「出会う」・・・場の革新：考え、対話し、体験することを通じて獲得できる「実感ある知」の循環を生み出し、新しい価値を創り出すために、実空間と情報空間が融合する、開かれた場を形成します。
- ③ 「育む」・・・人の変革：いかなる社会変化にあっても、「知る自由」「学ぶ自由」を保障する図書館の本質的機能を、技術革新を取り入れながら最適化し、最大限活用できる人づくりに貢献します。

行動指針 (Value)

- ① **協働します：(Collaboration コラボレーション)**
県内外の図書館や各種の文化施設・社会教育施設を始め、広く教育・学術界、産業界や社会的活動を行う人々と力を合わせます。
- ② **接続します：(Connecting コネクティング)**
さまざまなコミュニティや人々が信州の自然や社会の営みの中で日々生み出す、「現場にある知」、「暮らしの中の知」を、つなぎ合わせます。
- ③ **強みを生かします：(Competency コンピテンシー)**
図書館の普遍的な役割である資料・情報の収集・保存・発信・活用について、専門的な知識・スキル・マインドを持つ職員を育成し、強みを生かして社会に貢献します。
- ④ **挑戦します：(Challenge チャレンジ)**
市町村や公共図書館等の取組を下支えし、展開するとともに、自ら先進的なサービスを実験・実践することを通じて、人々と共に成長し、変化に強い図書館づくりに挑戦しつづけます。

2 取組方針

図書館の位置づけ

『しあわせ信州創造プラン 2.0 ～学びと自治の力で拓く新時代～ 長野県総合 5 か年計画』

【総合的に展開する重点政策】

学びの県づくり 生涯を通じて学べる環境の整備

- 図書館や公民館を活用し、多様な価値観を持つ人々が集まり、影響し合い新しい社会的価値を創ることができる場や機会の提供
- 図書館・美術館・博物館・学校などの地域における学びの場や、ICT を活用した学びのネットワークの構築を検討

産業の生産性が高い県づくり 革新力に富んだ産業の創出・育成(起業・スタートアップへの支援)

- 多様な人々が共創する草の根イノベーションが生まれる環境づくりを県内の図書館や公民館などと連携して進め、地域の課題に対処するソーシャル・イノベーションの取組を促進

第 3 次長野県教育振興基本計画

【基本理念】「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり

【重点政策】

「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり

社会教育施設を活用した、創造的な学びの場や機会の提供

- 県立図書館を中心とした多様な情報や人がつながり、アイデアを形にしていく「知と創造の場」としての図書館づくり

【政策】

学びの成果が生きる生涯学習の振興

- 信州にまつわる情報資産の収集保存を強化
- 県立図書館と市町村立図書館とが連携して、情報活用能力の向上に資するプログラムを実施
- 県立図書館を中心に多様な情報や人をつなぎ、「みんなの学び」を推進していくモデル空間を整備

計画に沿って取り組む

令和 4 年度取組方針

- 1. 資料・情報**：いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信する情報基盤を進化させ、蔵書構成のあり方を総合的に見直します。
- 2. 空間・場**：実空間である図書館の 1 ～2 階のフロア、3 階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、知的活動が展開・循環する「場」を進化させます。
- 3. 人材育成**：潜在的な利用者を含めた、全ての県民の学び合い・知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。
- 4. 長野県 eLibrary 計画**：図書館の機能を「紙」と「デジタル」、「館内」と「館外」の軸で 4 つのカテゴリーに分類し、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進め、図書館機能・サービスを進化させます。「信州 ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスの新規導入の検討を重点的に進めます。

3 主要事業計画

(1) 資料・情報

- ア 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」とを戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担を行いつつ、蔵書構築のあり方を見直す。
- イ 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に着けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。
- ウ 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

- ア 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。
- イ 試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。
- ウ 実空間と情報空間を融合させ、ICT を利活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。
- エ 図書館を「新しい出会いと発見が促される場」と捉え、1 階児童図書室・2 階一般図書室における「新しい発見・学び」のプログラムを展開する。

(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

- ア 地域の情報センターとしての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。
- イ 県民の学びを創発する機会として「図書館フォーラム」等を開催する。
- ウ 長野県における知と学びに関わる各種機関が、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。
- エ 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。

(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

- ア 図書館機能の高度化の方策として、目録のデジタル化、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、コンテンツの電子化を強化し、これらを使いこなす学びのネットワーク化を推進する。
- イ 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、レファレンスで多用する資料を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。
- ウ 災害時でも学びが継続できる手段を確保し、図書館利用の地域的・身体的なバリアフリー化を実現するために、ICTによる付加価値のある学びのコンテンツとして、「電子書籍サービス」を導入する。

5 予算

(1) 令和4年度図書館予算

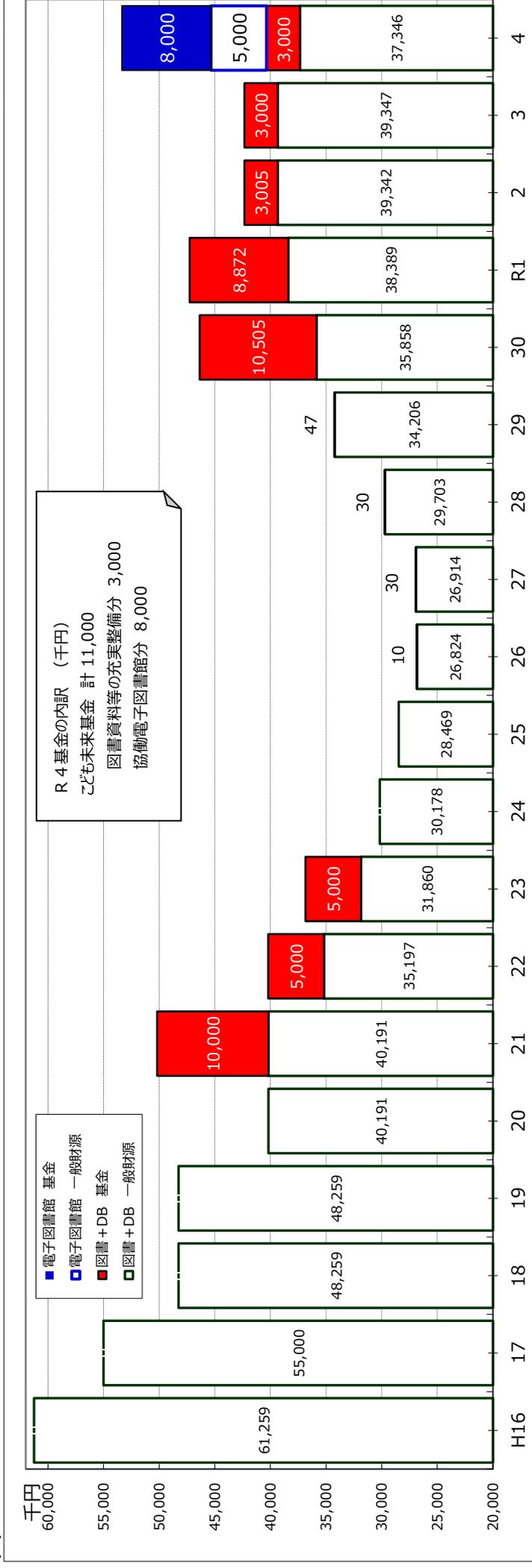
(単位：千円)

区 分	項 目	令和4年度	令和3年度	増 減	
管 理 運 営 費	人件費 (会計年度任用職員 (司書))	44,525	44,180	345	
	庁舎管理委託	16,321	16,252	69	
	光熱水費等	15,112	15,858	△746	
	計	75,958	76,290	△332	
コンピューター 管理費	システム/コンピューター借上等	30,245	27,978	2,267	
図 書 館 事 業 費	図 書 館 資 料 の 充 実	一般図書	30,071	31,740	△1,669
		児童図書 (学校支援を含む)	2,000	2,000	0
		新聞雑誌等	4,600	4,600	0
		データベース	3,675	4,007	△332
		小 計	40,346	42,347	
		電子図書館コンテンツ使用料	13,000	0	13,000
		合 計	53,346	42,347	10,999
	貸出図書郵送料	2,532	2,544	△12	
	フォーラム・研修会費	1,140	1,650	△510	
	業務用機器借上等	3,139	3,056	83	
	「信州・学び創造ラボ」整備・運用	6,060	6,060	0	
	電子図書館初期設定費・システム改修費・ プラットフォーム使用料	5,578	0	5,578	
	書庫棟6階増設工事・設計等委託料	0	103,129	△103,129	
	その他	777	777	0	
計	72,572	159,563	△86,991		
積立金	基金積立金	1	1	0	
合 計		178,776	263,832	△85,056	

市町村分担金 20,000
 総合計 198,776

(2) 図書購入費（予算額）の推移

(単位：千円)



年度	電子		図書		図書+DB		合計	
	基金	一般財源	基金	一般財源	基金	一般財源	基金	一般財源
H16	0	61,259	0	0	0	61,259	0	61,259
H17	0	55,000	0	0	0	55,000	0	55,000
H18	0	48,259	0	0	0	48,259	0	48,259
H19	0	48,259	0	0	0	48,259	0	48,259
H20	0	40,191	0	0	0	40,191	0	40,191
H21	10,000	35,197	0	0	0	45,197	0	45,197
H22	5,000	31,860	0	0	0	36,860	0	36,860
H23	5,000	28,469	0	0	0	33,469	0	33,469
H24	5,000	26,824	0	0	0	31,824	0	31,824
H25	0	26,914	0	0	0	26,914	0	26,914
H26	0	29,703	0	0	0	29,703	0	29,703
H27	0	34,206	0	0	0	34,206	0	34,206
H28	0	35,858	0	0	0	35,858	0	35,858
H29	0	38,389	0	0	0	38,389	0	38,389
H30	0	39,342	0	0	0	39,342	0	39,342
H31	0	39,347	0	0	0	39,347	0	39,347
H32	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H33	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H34	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H35	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H36	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H37	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H38	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H39	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H40	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H41	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H42	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H43	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H44	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H45	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H46	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H47	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H48	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H49	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H50	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H51	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H52	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H53	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H54	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H55	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H56	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H57	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H58	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H59	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H60	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H61	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H62	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H63	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H64	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H65	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H66	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H67	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H68	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H69	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H70	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H71	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H72	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H73	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H74	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H75	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H76	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H77	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H78	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H79	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H80	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H81	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H82	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H83	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H84	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H85	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H86	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H87	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H88	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H89	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H90	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H91	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H92	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H93	0	37,346	0	0	0	37,346	0	37,346
H94								

II 令和3年度事業実績

1 事業概要

(1) 利用状況

	計	平日	土・日曜日	祝日
開館日数	279日	173日	95日	11日
入館者数 (日平均)	260,095人 (932)	149,213人 (863)	98,135人 (1,033)	12,747人 (1,159)
資料の個人貸出	計	一般図書	児童図書	
	109,012冊	45,502冊	63,510冊	
相互貸借	計	貸出	借受	
	4,670冊	4,262冊	408冊	
調査相談 (レファレンス)	計	電話	口頭	メール他
	5,834件	2,490件	2,942件	402件
登録者	累計登録者数	新規登録者数		
	96,731人	2,704人		

(2) 図書資料等の状況

ア 所蔵資料

図書	計	一般図書	児童図書	郷土図書
	747,140冊	546,886冊	96,958冊	103,296冊
フィルム等	マイクロフィルム	16ミリ映画フィルム	ビデオ・DVD	
	10,283リール	2,260本	3,215本	

※児童図書は、外国語資料を含めた冊数。

イ 図書資料の購入等

	計	一般図書	児童図書	郷土図書
購入	8,030冊	5,606冊	1,136冊	1,288冊
寄贈等	11,712冊	9,087冊	70冊	2,555冊
除籍	130冊	38冊	92冊	0冊
計	19,612冊	14,655冊	1,114冊	3,843冊

ウ データベース

16タイトルのデジタル化情報を提供

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ①「信濃毎日新聞」データベース | ⑨日外アソシエーツ「magazineplus」 |
| ②朝日新聞社「聞蔵」 | ⑩ネットアドバンス「ジャパンレヅジ」 |
| ③日本経済新聞社「日経テレコン」 | ⑪ジー・サーチ「J-DreamⅢ」 |
| ④第一法規「法情報総合データベース」 | ⑫読売新聞社「ヨミダス歴史館」 |
| ⑤国立印刷局「官報情報検索サービス」 | ⑬毎日新聞社「毎索」 |
| ⑥国立国会図書館デジタルコレクション | ⑭ポプラ社「ポプラディアネット」 |
| ⑦信州デジタルコモンズ（旧・信州デジくら） | ⑮日本統計センター「市場情報評価ナビMieNa」 |
| ⑧農山漁村文化協会「ルーラル電子図書館」 | ⑯中日新聞社「中日新聞・東京新聞記事データベース」 |

※「magazineplus」令和4年3月末契約終了、「ポプラディアネット」令和4年3月末サービス終了

2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況

(1) 企画・展示

内容	実施期間・場所	概要
夏休み特別企画「ナツとしよ2021」 図書館のウラガワ探検隊	R3.8.3～8.8 書庫・整理室 午前・午後の2回開催	玄関ロビーに集合し、図書館職員の案内で普段は立ち入ることのできない図書館のバックヤードの見学を実施。
ひゃっか王	R3.8.3～8.20 R3.12月 児童室・ナレッジラボ	小・中学生を対象とした「調べる楽しさ」を体験してもらうイベント。 『総合百科事典ポプラディア』を使用した、2部構成の図書館「なぜ解き」イベントを開催。 (株式会社ポプラ社のプログラムと連携)
研究成果発表パネル& 関連資料展示	R3.12.7～12.21 2階一般図書室 ナレッジラボ	一般財団法人長野県科学振興会が毎年行っている「科学研究費助成金」を受けた研究成果のパネル展示と、各テーマを概観することができる図書館所蔵の資料を展示。
「文学を比較する」	R4.1月～3月	古代から現代に至るまで、時代を4つに分けて、テーマごとに文学を比較することで、新しい見方を発見できる展示。
岩波文庫コレクション	R4.3月～	岩波書店創業者岩波茂雄の出身地が長野県であることから、藤村浩平氏のご息子が当館へご寄贈くださった。図書約8,000冊をナレッジ・ラボで常設展示。

(2) 児童図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
児童図書室	「どこからきたの」	R3.4月～5月
	「くらべてみよう」	R3.6月～9月
	読書感想文コンクール	R3.7・8月
	自由研究	R3.7・8月
	「カガクとマホウ」	R3.10月～12月
	「ねがいのカタチ」	R4.1月～

(3) 一般図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
憶ら信 すをし州 る記のの 録記春	「善光寺と御開帳」	R3.8月～R4.2月
	「御柱」	R3.3月～
は また なら ぶく ・	SDGs	R3.7月～
	「信州のシードル」	R3.9月～12月
	「信州の日本酒」	R4.1月～
自然とからだ	「介護コーナー」	R3.10月～

(4) ブック・スプラウト

※ブック・スプラウトとは…新しい視点（発想の新芽）で蔵書を紹介するコーナー

区分	内 容	実施期間
し 信 記 州 録 の す 記 る 憶 を ら	1期 「視覚（ビジュアル）でたどる信州」	4月～6月
	2期 「信州×つくる」（信州で広がる地産地消の輪、信州が誇るものづくり、他	7月～9月
	3期 「信州と職人」	10月～12月
	4期 「信州×つくる」	1月～3月
ど 私 き こ た た か か ら ち は は	1期 「J・シムノン×池波正太郎（パリの街と江戸の街）」	4月～6月
	2期 「「自分」の条件って何？」	7月～9月
	3期 「人類の誕生」	10月～12月
	4期 「文学を比較する」	1月～3月
は ま な ら ぶ ・	1期 「自由なのか 不自由なのか」	4月～6月
	2期 「アイデアを実現させるには？ -新しい社会をつくるキミヘー」	7月～9月
	3期 「技術の進歩≠明るい未来？」	10月～12月
	4期 「本当につながりたいのは？ -リアル/バーチャル-」	1月～3月
か 自 ら 然 だ と	1期 「生物学+技術=？」	4月～6月
	2期 「青のつくり方」	7月～9月
	3期 「存在しないけど・・・」	10月～12月
	4期 「データサイエンスを疑え！」	1月～3月
音 ・ 身 こ と ば ・	1期 「ネーミングを【デザイン】から考える」	4月～6月
	2期 「ピアノ??！」	7月～9月
	3期 「声の世界を旅する」	10月～12月
	4期 「観る・観られる・魅せる」	1月～3月

(5) 視察・見学等

期 日	期 間	人 数	相手先	目 的
6月15日	1 日	64	信州大学工学部建築学科	図書館見学
10月21日	1時間	13	松川村フレッシュ学級	図書館見学
10月27日	1時間	7	長野市役所公共施設マネジメント推進課	図書館見学

(6) 職場体験学習・インターンシップ等の受入

新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点により受入れ中止

3 調査相談の状況

(1) 調査相談の内訳

(単位：件)

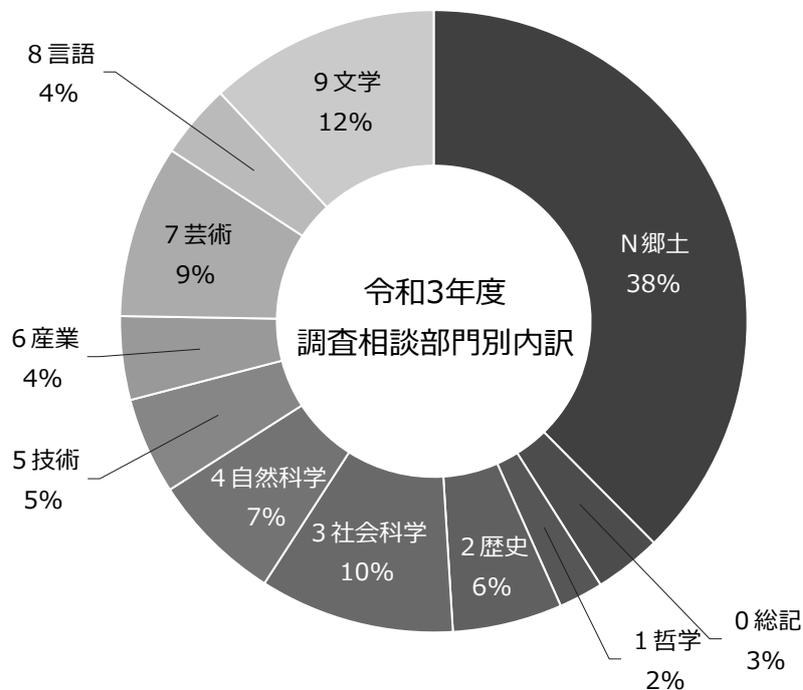
項目	令和2年度					令和3年度					
	口頭	電話	メール	FAX 文書	小計	口頭	電話	メール	FAX 文書	小計	
部門別内訳	N郷土	231	97	190	21	539	347	142	237	45	771
	0総記	27	4	0	0	31	38	17	15	1	71
	1哲学	34	4	1	0	39	31	15	0	1	47
	2歴史	75	25	3	1	104	92	18	4	2	116
	3社会科学	90	38	7	1	136	136	51	11	8	206
	4自然科学	81	30	2	0	113	117	20	3	0	140
	5技術	53	3	3	0	59	90	11	2	0	103
	6産業	54	8	2	0	64	70	12	7	0	89
	7芸術	70	15	4	1	90	115	22	1	46	184
	8言語	25	10	2	0	37	23	54	2	0	79
	9文学	129	23	6	1	159	197	39	8	0	244
	E絵本	80	9	0	0	89	107	5	0	0	112
新聞・雑誌	33	43	7	2	85	110	59	5	4	178	
利用案内	427	1,939	0	0	2,366	1,469	2,025	0	0	3,494	
合計	1,409	2,248	227	27	3,911	2,942	2,490	295	107	5,834	

※N郷土は、N0類～N9類に関する調査の調査件数を合計したもの。

※部門別内訳の0総記～9文学は、一般と児童に関する調査件数を合計したもの。

※新聞・雑誌は、郷土、一般、児童に関する調査件数を合計したもの。

※円グラフには、新聞・雑誌と絵本の調査件数は含まない。



(2) 図書館・行政機関等からのレファレンス件数

令和2年度	令和3年度
60	87

※(1) 調査相談の内訳表の内数

(3) 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」登録件数・被参照数

	令和2年度	令和3年度	累計（令和3年度末）
登録件数	134	252	1,633
被参照数	28,308	414,942	

※被参照数は、web上で一般の利用者や他の図書館に検索して見られた件数

※登録件数は一般公開、参加館限定公開、自館のみ公開の区分で登録した事例の合計件数。

当館では、レファレンス事例をインターネットを介して多くの方が利用できるよう、国立国会図書館のサイト内にある「レファレンス協同データベース」への登録を積極的に行っています。

この事例登録について、登録数が多い参加館、またはアクセスが多い参加館に贈られる礼状を、昨年に引き続き国立国会図書館長からいただくことができました。

礼状の対象となった項目は次のとおりです。（データの公開レベルに応じてポイント化し、基準※を達成）

※基準については「レファレンス協同データベース」を参照。<https://crd.ndl.go.jp/jp/library/thanks.html>

・令和3年1月から12月までの年間データ登録ポイント：981ポイント

・令和3年1月から12月までの調べ方マニュアルの累積データ登録ポイント：74ポイント

・令和3年1月から12月までの年間データ被参照件数：335,159件

令和3年度に寄せられた質問（抜粋）

※文末の数字は「レファレンス協同データベース」での被参照数

郷土

- ・「長野県内の藩の家臣、藩士の名前などを調べたい。何を見ればよいか。」（1,984件）
- ・「長野県民にとって、自分が住んでいる場所として一番しっくりくる呼び名は「長野」か、「信州」か、「信濃」か。」（1,379件）
- ・「色々なパターンの黒姫伝説が読みたい。特に、殿様が娘を嫁にする条件として蛇に城を何周させたのか気になる。」（1,339件）
- ・「江戸後期及び明治20年代の善光寺（長野市）周辺の市街地はあるか。陶磁商や金物師、石工師などを確認したい。」（501件）
- ・「草木（くさき）トンネル」が三遠南信自動車道として建設されたものの国道152号に編入された経緯と「青崩（あおくずれ）トンネル」建設の経緯について知りたい。（1131件）

一般

- ・「日本の警察の始まりについて知りたい。近代警察の始まりと犯罪を取り締まる組織（人）の始まりについてそれぞれわかるといい。」（931件）
- ・「古語辞典の見出し語が動詞の場合、「終止形」ではなく「連体形」を採用している出版社がありそれが岩波書店か角川書店のどちらかだったと思うが、どちらなのか知りたい。」（764件）
- ・「各国のオリンピックの金メダルを獲得した際の報奨金の金額を知りたい。とくに、イギリス、ドイツ、メキシコ、スペインのできれば東京オリンピックでの金額がいい。」（2,589件）
- ・「今現在起きている紛争や内戦について子どもへ教えるために調べている。インターネットでも調べたが、書籍でも知りたい。世界でどのような争いが起きていて、なぜ起こったのか、どのくらいの国を巻き込んでいるのかわかる資料を教えてください。」（761件）

当館のレファレンス協同データベースへ登録した事例の一覧は、県立長野図書館のホームページからご覧いただけます。<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/collection/reference/index.html>

または右記QRコードからでもご覧いただけます。



4 市町村立図書館等との協働、支援

(1) 市町村図書館等運営に関する相談

県内の公共図書館・公民館図書室・学校図書館等と連携し、協働体制を整えた。

また、運営上の様々な相談・図書館設置に向けての助言・提案等を行った。

ア 北信公共図書館連絡協議会職員研修会

令和3年11月16日 於 千曲市戸倉創造館

イ 第48回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和4年2月18日 オンライン

※市町村図書館等を対象にした研修事業については「5 フォーラム・研修会の開催」に掲載

(2) Facebook ページを活用した情報発信・提案

「県立長野図書館」..... 信州の「図書館のある暮らし」に関する情報発信

「信州発・これからの図書館フォーラム」..... これからの図書館が進む方向についての提案・情報提供

「山に見える図書館—信州のまち・ひと・としょかん」.. 県内の図書館に関する情報発信

「信州・学び創造ラボ」..... 県民が主体となる“共知・共創”の場としての活用提案と活動報告

「信州ナレッジスクエア」..... 信州の情報を繋ぐポータルサイトに関する情報発信

(3) 図書館業務関連調査実施及び結果の提供状況

名称	時期	対象館	
公共図書館概況調査	令和3年～7月	117館	長野県内公共図書館の概況調査 (結果はHPに公開)

(4) 長野県図書館大会企画運営委員会の事務局運営

ア 企画運営委員会の開催 書面審議

イ 大会実行委員会と連携して、第71回長野県図書館大会を開催.....参加者計569人

日程 令和3年11月6日 (大学専門図書館部会は11月5日、高校図書館協議会は11月4日)

会場 中野市豊田文化センター＋サテライト会場 (11会場)

大会テーマ..... 「地域と共に知り、共に創る」

分科会小中学校図書館部会テーマ.. ICTを活用した図書館づくり

公共図書館部会テーマ 「これからの公共図書館研究会」におけるR3の検討状況の発表

大学専門図書館部会テーマ..... どうしていますか、文献検索ガイダンス

高校図書館協議会実践発表、自由討議

(5) 長野県図書館協会との連携・協力

ア 公共図書館部会事務局運営による事業実施

(ア) 幹事会の開催 令和3年4月書面審議

(イ) 公共図書館長会議の開催 参加者 51 人

令和3年5月28日オンライン

(ウ) 公共図書館長研修会の開催 参加者 34 人

令和3年10月15日 於 市立小諸図書館 塩尻市立図書館 飯田市立中央図書館 県立長野図書館

(エ) 長野県図書館大会分科会の運営

令和3年11月6日 於 中野市豊田文化センター+サテライト会場 (11 会場)

(オ) これからの公共図書館研究会の開催 出席者計 108 人

第1回 令和3年7月 デジタル活用、資料活用・レファレンス、
図書館サービス計画、
学びのプログラム・学校連携

第2回 令和3年9月 資料活用・レファレンス

令和3年10月 学びのプログラム・学校連携、デジタル活用、図書館サービス計画

第3回 令和3年10月 資料活用・レファレンス

令和4年2月 学びのプログラム・学校連携、図書館サービス計画

令和4年3月 デジタル活用

第4回 令和4年1月 資料活用・レファレンス

イ ステップアップ (専門) 研修への参加・協力

令和3年10月21日 オンライン

(6) その他機関との連携・協力

ア 信州大学附属図書館との連携・協力

平成27年8月に締結した連携覚書に基づき、双方の職員交流研修を実施

イ 国立情報学研究所教授高野明彦氏との連携・協力

当館が進めている「知のポータル」の構築をはじめとする信州の情報基盤構築に向けて、アドバイスや支援等を受けるための協定を平成30年10月に締結

ウ 株式会社カーリルとの連携・協力

新たな図書館サービスの構築に向けての調査研究等を推進するための協定を平成30年10月に締結

エ 株式会社バリューブックスとの連携・協力

本を使った社会貢献活動や新たなコミュニティの創造等、双方が持つスキルを活用した本をめぐる新しいサービスを実現するための協定を平成31年4月に締結

オ 信州大学教育学部との連携・協力

長野県内のものづくりを通じた創造的な学びのプロセスを整え、共通プラットフォームをつくるための協定を平成31年4月に締結

カ 長野県信濃美術館との連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和元年7月に締結

キ 長野県埋蔵文化財センターとの連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和2年6月更新

(旧:平成29年6月)

5 フォーラム・研修会の開催

(1) 信州発・これからの図書館フォーラム 新シリーズ「共知・共創の広場－もう一步踏み出す」

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/11(日) オンライン 14:00～17:00"	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「まちの記憶を記録する～「どこコレ？」のつくりかた～」	NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台副理事長／風の詩編集部代表 佐藤 正実 氏 HUMI コンサルティング株式会社／NPO 法人連想出版 中村 佳史 氏	42
8/31 (火) オンライン 13:30～16:00"	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「電子ブックってどんなもの？」 高森ほんとも Web Library の取組／ 「LibrariE & TRC-DL」／学術電子図書館「KinoDen」	高森町立図書館 主幹 大洞 静香 氏 TRC 電子図書館サービス株式会社 紀伊國屋書店株式会社	63
12/12 (日) オンライン 14:00～16:00"	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「災害情報を明日へとつなぐ～地域の拠点としての図書館へ～」	長野保健医療大学准教授 宮越 幸代 氏 長野工業高等専門学校教授 古本 吉倫 氏 株式会社コトト代表取締役 瀧内 貴 氏	20
2/19 (土) オンライン 13:30～16:30	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「信州の『はたらく』を考える」	株式会社コトト代表取締役 瀧内 貴 氏 グリーンズの学校編集長 兼松 佳宏 氏 日光珈琲オーナー 風間 教司 氏 菜日株式会社代表取締役 菊地 徹 氏 fascinate 株式会社代表取締役社長 但馬 武 氏 TINYGARDEN 蓼科 粟野 龍亮 氏 おかえり代表取締役 松原 佳代 氏 株式会社 re:terra 代表取締役社長 渡邊 さやか 氏	34
2/26 (土) オンライン 13:00～17:30"	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「WikipediaLIB 信州#04～ウィキペディアタウンのつくりかた～」	伊那市地域おこし協力隊 諸田 和幸 氏 ウィキペディアン AsturioCantabrio 氏 ウィキペディアン／ウィキペディア日本語版管理者 Araisyohei 氏	70

(2) 図書館の機能についての一般向け研修・講座

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/20 (火) 県立長野図書館 10:00～16:00	「令和3年度林業士入門講座」 山村地域で森林を活かし地域のひとともに行動するために必要となる情報と、それを活用するための実践的なスキル獲得	長野県林業総合センター林業専門技術員 小山 泰弘 氏 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書	16
8/20(金) 長野県 林業総合センター 9:00～16:00	「令和3年度林業士入門講座」 受講者自身による、森からの情報発信と、フィードバックを得、活用する。	長野県林業総合センター林業専門技術員 小山 泰弘 氏 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書	15
10/8(金) 県立長野図書館 9:00～16:00	「令和3年度林業士入門講座」 行動計画の実行可能性の確認	長野県林業総合センター林業専門技術員 小山 泰弘 氏 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書	13
10/30 (土) 県立長野図書館 13:30～16:30	「信州・学び創造ラボ」ラボ・デザイン会議 # 10 －つながるあつまるのカタチを考えよう－	アカデミック・リソース・ガイド株式会社デザイナー・ディレクター 李 明喜 氏 株式会社コトト代表取締役 瀧内 貴 氏 前・県立長野図書館館長 平賀 研也 氏	17

(3) 階層別及び技能別に実施する研修事業

期日・場所	内容	講師等	参加者
5月～6月 DVD視聴	「公共図書館職員初任者研修（講義）」	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書	77
9/22(水) 県立長野図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書	17
10/1(金) 安曇野市中央図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書	20
10/4(月) 佐久市立中央図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書	20
10/7(木) 県立長野図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書	17
7月～3月 オンライン	中堅職員育成研修会（これからの公共図書館研究会） ○図書館サービス計画 ○学びのプログラム・学校連携 ○デジタル活用 ○資料活用・レファレンス	県立長野図書館司書	108
10/21(木) オンライン 13:30～15:00	図書館職員等人材育成研修会（ステップアップ専門研修会） 「図書館サービスを一步前へ ：デジタルとネットワークの力で図書館を進化させよう」	県立長野図書館館長 森 いづみ	40
5/28(金) オンライン 13:00～16:10	長野県公共図書館長会議 1 話題提供 「電子書籍サービス導入に向けた検討について」 「これからの公共図書館研究会」について 2 講演（事例発表） 「駒ヶ根市立図書館での試み」 3 対話 4 ワークショップ	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 駒ヶ根市立東伊那公民館館長 春日 由紀夫 氏	51
10/15(金) 県立長野図書館 市立小諸図書館 塩尻市立図書館 飯田市立中央図書館 13:00～17:00	長野県公共図書館館長研修会 1 基調講演 「ディスカバー図書館：鳥取県立図書館 31 年目の挑戦」 2 話題提供 「最新動向：ミッション・ビジョン、協働電子図書館を中心に」 3 対話 4 ワークショップ	鳥取県立図書館館長 小林 隆志 氏 県立長野図書館館長 森 いづみ	34

(4) 各地域における図書館職員等研修実施及び連絡会への出席

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/4(日) 佐久平交流センター	こども環境学会 2021 年大会	県立長野図書館館長 森 いづみ	※
8/27(金) 松本市図書館 14:00～16:00	松本市学校司書研修 もっと「知る」ことを楽しむ図書館へ～学校と公共で手をつなぐ～	県立長野図書館司書	40
8/27(金) オンライン 13:30～15:00	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書	22
9/3(金) オンライン	中信地区公共図書館長会議	県立長野図書館館長	19
10/29 (金) 白馬村役場 15:40～17:00	第 1 回白馬村図書館協議会	県立長野図書館司書	12
11/16 (火) 千曲市戸倉創造館 大ホール	北信公共図書館連絡協議会職員研修会	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書	28
11/19 (金) オンライン 8:45～9:45	白馬高校探究授業事前学習	県立長野図書館司書	46
11/24 (水) 県立長野図書館 10:00～12:30	白馬高校探究授業文献調査	県立長野図書館司書	46
11/28 (日) 池田町交流センターかえで	ウィキペディアタウン in 池田町	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書	17
2/18(金) オンライン 13:30～15:00	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書	28
3/18 (金) 白馬村役場 13:30～15:30	第 2 回白馬村図書館協議会	県立長野図書館司書	12

※学会主催大会のため参加者人数不明。

6 信州・学び創造ラボ

「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指し 2019 年 4 月 6 日に開設。これからの図書館や公共空間のあり方を考える実験室として、また、信州のこれからの学びの姿を試し体感できる場所として運用している。



(1) 概要

ア 総合5か年計画等における位置づけ

『しあわせ信州創造プラン 2.0 ～学びと自治の力で拓く新時代～ 長野県総合5か年計画』

【総合的に展開する重点政策】 **学びの県づくり** 生涯を通じて学べる環境の整備

『第3次長野県教育振興基本計画』

【重点政策】 **「共に学び合い、共に価値を創る」** 学びの環境づくり

イ 設置か所

当館3階南面(若里公園側)及び北面(TSB側)一部 約900㎡

(2) 連携協定等

期 日	締 結 先 及 び 内 容
H31.4.23	株式会社バリューブックスとの連携協定
H31.4.27	信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野及び株式会社アソビズムとの三者による連携覚書

(3) 各フロアコンセプト

<p>信州情報探索ゾーン – 信州の「知の営み」を体感する</p> <p>県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書、戦時中に検閲処分を受けた資料などを六角スペース内に展示し、信州の過去と未来をつなぐデジタルな情報源も埋め込む。奥には畳コーナーやカラフルなクッションフロアを設け、利用者の自由な発想を促し、様々な活動に結びつくことを見込んでいる。</p>
<p>Co-Learning ゾーン – 多様な情報や人がつながり、アイデアをかたちにする</p> <p>ワークショップやミーティングなど、グループでの活動を実現するエリア。PC 接続モニター、ホワイトボード、電子黒板など、対話をその場で可視化しながら共有できる機能を設けた。そこで生まれたアイデアを具体化し、一般利用者の知的好奇心を喚起する設備として、キッチンブースやマイクロライブラリーを設置している。</p>
<p>モノトベース – アウトプットからはじまる学び</p> <p>UV プリンターやレーザーカッター等の工作機器を中心に設けたメーカーズコーナー。創造的な学びのプロセスを実感し、アウトプットすることが次の学びにつながる循環の場となることを意図している。個人単位での利用は目的にしておらず、興味・関心が重なる仲間とともにコミュニティをつくり、自由で自立的な空間の形成を目指す。</p>

(4) 主な取組等

空間デザインや運営のあり方について、整備段階から一般参加者と共にワークショップで議論を重ねてきた。オープン後も継続し「ラボ・デザイン会議」「Labo.café」の形で定期開催している。(テーマは毎回異なる)

※はオンラインを含む開催形式(主会場、サテライト会場を含む)

区 分	内 容 (令和元年度～)
全国を対象とした催し	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県立図書館サミット (R1) ・りぶしる (R1) ・図書館総合展 ONLINE フォーラム登壇者配信※ バーチャルツアー※ (R2)
「モノトベース」関係の催し	<ul style="list-style-type: none"> FabLab 長野主催ワークショップ (こいのぼり/七夕飾り/クリスマスオーナメント) ジグソーパズル、コースター作成ワークショップ モノトベース・オープンデー/ものづくりコミュニティミーティング (月 1 回) 利用カードデザインワークショップ (週 1 回)
主催・共催企画	<ul style="list-style-type: none"> ・映画観劇後座談会……エキスリプリス (R1)、パブリック図書館の奇跡※ (R2) ・長水高等学校図書館協議会……図書委員交流会 (R1) 職員研修会 (R2) ・信州つばさプロジェクト (R1) ・公共図書館長研修 (R2) ・松本県ヶ丘高校探究授業※ およびバーチャル本棚作りワークショップ (R2) ・これからの公共について考えるための対話シリーズ※ (R1,R2) ・図書館と災害と ICT を考えるオンラインセミナーシリーズ※ (R2) ・信州の「はたらく」を考える (R3)
視察・取材・見学	建築設計関係、自治体、図書館および教育機関、テレビ収録等 (R3…11 件)

(5) 管理運営等

区 分	役 割
図書館職員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設配置、利用方法等の案内や説明 ・利用者同士の交流、利用者による自立的運営を促す機会を提供 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
トレーナー (委託契約)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラボ運営の核となる団体を県内各地から新たに発掘 ・人と人をつなぐワークショップの開催 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
利 用 者	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者コミュニティの組織化 ・自主的な施設の管理運営方法を検討し実施

7 新型コロナウイルス感染症への対応について

長野県における新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、感染拡大防止の観点から県立長野図書館では提供する図書館サービス等を制限した上で運営を行っている。

(1) 県立長野図書館の方針

感染拡大防止と社会経済機能との両立を踏まえ、図書館の来館利用にかかる知るごとと学ぶことを止めないため、館内における利用・行動の制限と適切な感染防止策により必要最小限のサービスを継続する。

(2) 図書館サービスの主な制限内容

貸出・閲覧・検索等の利用制限	<ul style="list-style-type: none">・閉館時間の短縮（19時から17時に短縮）・滞在時間の制限（30分もしくは2時間）・館内イス等の撤去（全部または一部間引き）・分散利用の奨励（混雑時間の回避）
信州・学び創造ラボ、会議室等の利用制限	<ul style="list-style-type: none">・利用の中止（閉鎖）・利用時間の制限（2時間以内）

(3) 完全休館となった場合の対応

感染状況により完全休館とせざるを得ない場合も、専用窓口によるネット予約貸出等は継続。

(4) 適切な感染防止対策の徹底

マスクの着用	<ul style="list-style-type: none">・利用者への周知徹底（館内サイン、ホームページ等）・出入口等へのアルコール消毒液の設置・蓋の閉まる飲みもの（水筒等）は除外・職員による館内の机、イス、パソコン等の消毒・エントランス、図書室入口等への常時設置・図書館カウンターへのビニールシート設置
手指のアルコール消毒	
食事の禁止	
定期的消毒及び換気	
非接触型体温計の設置	
間仕切りパーテーションの設置	

8 令和3年度主要事業実施状況（図書館協議会資料から）

県立長野図書館（2022/03/02）

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
<p>(1) 資料・情報</p> <p>① 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」とを戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担を行いつつ、蔵書構築のあり方を見直す。</p> <p>② 資料の保存場所を確保し、書庫出納やレファレンス対応効率化を図るため、書庫棟6階の整備を行い、将来を見越した最適な資料配置を行う。</p>  <p>③ 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に着けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。</p> <p>④ 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。</p>	<p>資料収集方針及び資料選定基準の改訂を行い分野別基準等の見直しを行った。蔵書構築のあり方の見直しは引き続きの課題となっている。なお今後、電子書籍の導入に伴い収集方針及び選定基準について必要な改訂を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資料収集の取組みとして、古書の流通情報を調査し、所蔵のない郷土資料や復本の確保に努めた。 書庫6階を整備し、昭和20年代から平成10年代前半に受入れた図書ほとんどをこの階に配架。あわせて全階層の配置を変更し、5階書庫は郷土のみとして保管環境の改善を行った。   <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の調査相談件数（簡易なものを除く）は、令和4年1月末までで346件、令和2年度年間件数の約1.3倍になっている。引き続き丁寧な調査・相談に努めたい。 令和3年度の相互貸借の状況は、令和4年1月末までの貸出件数及び冊数累計がすでに令和2年度（年間）を上回っている。また、インターネット貸出は令和2年度と同程度になっており、引き続き利用促進に努めたい。

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

- ①「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニケーションを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。
- ②試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノトベース」をさらに活用し、コミュニケーション関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。
- ③実空間と情報空間を融合させ、ICT を活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。



- ④図書館を「新しい出会いと発見が促される場」と捉え、1 階児童図書室・2 階一般図書室における「新しい発見・学び」のプログラムを展開する。



- ・「信州・学び創造ラボ」の活用やコミュニティ促進を目的としたワークショップとして、「ラボ・デザイン会議」(1回)「ラボカフェ」(3回)モノトベースオープンデー (8回) オリジナルライブリーカードワークショップ (29回) を実施。感染症の拡大にともない、可能なものについてはできる限りオンライン開催への移行を進めた。



- ・白馬高校との協働により、本棚とICT機器の併用による探究学習を実施した。また外部機関(学会、団体等)との連携を図り、県立長野図書館の「情報・人・空間」機能を伝え、意見交流する機会を設けている。
- ・児童図書室には、短時間の滞在でも体験型の学びができるマイクロスコブを常設し、子どもたちが館内を巡って謎を解くスタイルの分散型プログラムを実施した。室内展示はテーマ提示ではなく問いかけ型とし、利用者の探究心を引き出すための仕掛けを施している。



(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

①地域の情報センターとしての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。



②県民の学びを創発する機会として「図書館フォーラム」等を開催する。

A. 相田 聖也 B. 中野 隆 C. 伊藤 大 D. 山崎 弘
 E. 小島 聖 F. 小島 聖 G. 小島 聖 H. 小島 聖 I. 小島 聖 J. 小島 聖
 K. 小島 聖 L. 小島 聖 M. 小島 聖 N. 小島 聖 O. 小島 聖 P. 小島 聖 Q. 小島 聖 R. 小島 聖 S. 小島 聖 T. 小島 聖 U. 小島 聖 V. 小島 聖 W. 小島 聖 X. 小島 聖 Y. 小島 聖 Z. 小島 聖
 AA. 小島 聖 AB. 小島 聖 AC. 小島 聖 AD. 小島 聖 AE. 小島 聖 AF. 小島 聖 AG. 小島 聖 AH. 小島 聖 AI. 小島 聖 AJ. 小島 聖 AK. 小島 聖 AL. 小島 聖 AM. 小島 聖 AN. 小島 聖 AO. 小島 聖 AP. 小島 聖 AQ. 小島 聖 AR. 小島 聖 AS. 小島 聖 AT. 小島 聖 AU. 小島 聖 AV. 小島 聖 AW. 小島 聖 AX. 小島 聖 AY. 小島 聖 AZ. 小島 聖
 BA. 小島 聖 BB. 小島 聖 BC. 小島 聖 BD. 小島 聖 BE. 小島 聖 BF. 小島 聖 BG. 小島 聖 BH. 小島 聖 BI. 小島 聖 BJ. 小島 聖 BK. 小島 聖 BL. 小島 聖 BM. 小島 聖 BN. 小島 聖 BO. 小島 聖 BP. 小島 聖 BQ. 小島 聖 BR. 小島 聖 BS. 小島 聖 BT. 小島 聖 BU. 小島 聖 BV. 小島 聖 BW. 小島 聖 BX. 小島 聖 BY. 小島 聖 BZ. 小島 聖
 CA. 小島 聖 CB. 小島 聖 CC. 小島 聖 CD. 小島 聖 CE. 小島 聖 CF. 小島 聖 CG. 小島 聖 CH. 小島 聖 CI. 小島 聖 CJ. 小島 聖 CK. 小島 聖 CL. 小島 聖 CM. 小島 聖 CN. 小島 聖 CO. 小島 聖 CP. 小島 聖 CQ. 小島 聖 CR. 小島 聖 CS. 小島 聖 CT. 小島 聖 CU. 小島 聖 CV. 小島 聖 CW. 小島 聖 CX. 小島 聖 CY. 小島 聖 CZ. 小島 聖
 DA. 小島 聖 DB. 小島 聖 DC. 小島 聖 DD. 小島 聖 DE. 小島 聖 DF. 小島 聖 DG. 小島 聖 DH. 小島 聖 DI. 小島 聖 DJ. 小島 聖 DK. 小島 聖 DL. 小島 聖 DM. 小島 聖 DN. 小島 聖 DO. 小島 聖 DP. 小島 聖 DQ. 小島 聖 DR. 小島 聖 DS. 小島 聖 DT. 小島 聖 DU. 小島 聖 DV. 小島 聖 DW. 小島 聖 DX. 小島 聖 DY. 小島 聖 DZ. 小島 聖
 EA. 小島 聖 EB. 小島 聖 EC. 小島 聖 ED. 小島 聖 EE. 小島 聖 EF. 小島 聖 EG. 小島 聖 EH. 小島 聖 EI. 小島 聖 EJ. 小島 聖 EK. 小島 聖 EL. 小島 聖 EM. 小島 聖 EN. 小島 聖 EO. 小島 聖 EP. 小島 聖 EQ. 小島 聖 ER. 小島 聖 ES. 小島 聖 ET. 小島 聖 EU. 小島 聖 EV. 小島 聖 EW. 小島 聖 EX. 小島 聖 EY. 小島 聖 EZ. 小島 聖
 FA. 小島 聖 FB. 小島 聖 FC. 小島 聖 FD. 小島 聖 FE. 小島 聖 FF. 小島 聖 FG. 小島 聖 FH. 小島 聖 FI. 小島 聖 FJ. 小島 聖 FK. 小島 聖 FL. 小島 聖 FM. 小島 聖 FN. 小島 聖 FO. 小島 聖 FP. 小島 聖 FQ. 小島 聖 FR. 小島 聖 FS. 小島 聖 FT. 小島 聖 FU. 小島 聖 FV. 小島 聖 FW. 小島 聖 FX. 小島 聖 FY. 小島 聖 FZ. 小島 聖
 GA. 小島 聖 GB. 小島 聖 GC. 小島 聖 GD. 小島 聖 GE. 小島 聖 GF. 小島 聖 GG. 小島 聖 GH. 小島 聖 GI. 小島 聖 GJ. 小島 聖 GK. 小島 聖 GL. 小島 聖 GM. 小島 聖 GN. 小島 聖 GO. 小島 聖 GP. 小島 聖 GQ. 小島 聖 GR. 小島 聖 GS. 小島 聖 GT. 小島 聖 GU. 小島 聖 GV. 小島 聖 GW. 小島 聖 GX. 小島 聖 GY. 小島 聖 GZ. 小島 聖
 HA. 小島 聖 HB. 小島 聖 HC. 小島 聖 HD. 小島 聖 HE. 小島 聖 HF. 小島 聖 HG. 小島 聖 HH. 小島 聖 HI. 小島 聖 HJ. 小島 聖 HK. 小島 聖 HL. 小島 聖 HM. 小島 聖 HN. 小島 聖 HO. 小島 聖 HP. 小島 聖 HQ. 小島 聖 HR. 小島 聖 HS. 小島 聖 HT. 小島 聖 HU. 小島 聖 HV. 小島 聖 HW. 小島 聖 HX. 小島 聖 HY. 小島 聖 HZ. 小島 聖
 IA. 小島 聖 IB. 小島 聖 IC. 小島 聖 ID. 小島 聖 IE. 小島 聖 IF. 小島 聖 IG. 小島 聖 IH. 小島 聖 II. 小島 聖 IJ. 小島 聖 IK. 小島 聖 IL. 小島 聖 IM. 小島 聖 IN. 小島 聖 IO. 小島 聖 IP. 小島 聖 IQ. 小島 聖 IR. 小島 聖 IS. 小島 聖 IT. 小島 聖 IU. 小島 聖 IV. 小島 聖 IW. 小島 聖 IX. 小島 聖 IY. 小島 聖 IZ. 小島 聖
 JA. 小島 聖 JB. 小島 聖 JC. 小島 聖 JD. 小島 聖 JE. 小島 聖 JF. 小島 聖 JG. 小島 聖 JH. 小島 聖 JI. 小島 聖 JJ. 小島 聖 JK. 小島 聖 JL. 小島 聖 JM. 小島 聖 JN. 小島 聖 JO. 小島 聖 JP. 小島 聖 JQ. 小島 聖 JR. 小島 聖 JS. 小島 聖 JT. 小島 聖 JU. 小島 聖 JV. 小島 聖 JW. 小島 聖 JX. 小島 聖 JY. 小島 聖 JZ. 小島 聖
 KA. 小島 聖 KB. 小島 聖 KC. 小島 聖 KD. 小島 聖 KE. 小島 聖 KF. 小島 聖 KG. 小島 聖 KH. 小島 聖 KI. 小島 聖 KJ. 小島 聖 KK. 小島 聖 KL. 小島 聖 KM. 小島 聖 KN. 小島 聖 KO. 小島 聖 KP. 小島 聖 KQ. 小島 聖 KR. 小島 聖 KS. 小島 聖 KT. 小島 聖 KU. 小島 聖 KV. 小島 聖 KW. 小島 聖 KX. 小島 聖 KY. 小島 聖 KZ. 小島 聖
 LA. 小島 聖 LB. 小島 聖 LC. 小島 聖 LD. 小島 聖 LE. 小島 聖 LF. 小島 聖 LG. 小島 聖 LH. 小島 聖 LI. 小島 聖 LJ. 小島 聖 LK. 小島 聖 LL. 小島 聖 LM. 小島 聖 LN. 小島 聖 LO. 小島 聖 LP. 小島 聖 LQ. 小島 聖 LR. 小島 聖 LS. 小島 聖 LT. 小島 聖 LU. 小島 聖 LV. 小島 聖 LW. 小島 聖 LX. 小島 聖 LY. 小島 聖 LZ. 小島 聖
 MA. 小島 聖 MB. 小島 聖 MC. 小島 聖 MD. 小島 聖 ME. 小島 聖 MF. 小島 聖 MG. 小島 聖 MH. 小島 聖 MI. 小島 聖 MJ. 小島 聖 MK. 小島 聖 ML. 小島 聖 MM. 小島 聖 MN. 小島 聖 MO. 小島 聖 MP. 小島 聖 MQ. 小島 聖 MR. 小島 聖 MS. 小島 聖 MT. 小島 聖 MU. 小島 聖 MV. 小島 聖 MW. 小島 聖 MX. 小島 聖 MY. 小島 聖 MZ. 小島 聖
 NA. 小島 聖 NB. 小島 聖 NC. 小島 聖 ND. 小島 聖 NE. 小島 聖 NF. 小島 聖 NG. 小島 聖 NH. 小島 聖 NI. 小島 聖 NJ. 小島 聖 NK. 小島 聖 NL. 小島 聖 NM. 小島 聖 NN. 小島 聖 NO. 小島 聖 NP. 小島 聖 NQ. 小島 聖 NR. 小島 聖 NS. 小島 聖 NT. 小島 聖 NU. 小島 聖 NV. 小島 聖 NW. 小島 聖 NX. 小島 聖 NY. 小島 聖 NZ. 小島 聖
 OA. 小島 聖 OB. 小島 聖 OC. 小島 聖 OD. 小島 聖 OE. 小島 聖 OF. 小島 聖 OG. 小島 聖 OH. 小島 聖 OI. 小島 聖 OJ. 小島 聖 OK. 小島 聖 OL. 小島 聖 OM. 小島 聖 ON. 小島 聖 OO. 小島 聖 OP. 小島 聖 OQ. 小島 聖 OR. 小島 聖 OS. 小島 聖 OT. 小島 聖 OU. 小島 聖 OV. 小島 聖 OW. 小島 聖 OX. 小島 聖 OY. 小島 聖 OZ. 小島 聖
 PA. 小島 聖 PB. 小島 聖 PC. 小島 聖 PD. 小島 聖 PE. 小島 聖 PF. 小島 聖 PG. 小島 聖 PH. 小島 聖 PI. 小島 聖 PJ. 小島 聖 PK. 小島 聖 PL. 小島 聖 PM. 小島 聖 PN. 小島 聖 PO. 小島 聖 PP. 小島 聖 PQ. 小島 聖 PR. 小島 聖 PS. 小島 聖 PT. 小島 聖 PU. 小島 聖 PV. 小島 聖 PW. 小島 聖 PX. 小島 聖 PY. 小島 聖 PZ. 小島 聖
 QA. 小島 聖 QB. 小島 聖 QC. 小島 聖 QD. 小島 聖 QE. 小島 聖 QF. 小島 聖 QG. 小島 聖 QH. 小島 聖 QI. 小島 聖 QJ. 小島 聖 QK. 小島 聖 QL. 小島 聖 QM. 小島 聖 QN. 小島 聖 QO. 小島 聖 QP. 小島 聖 QQ. 小島 聖 QR. 小島 聖 QS. 小島 聖 QT. 小島 聖 QU. 小島 聖 QV. 小島 聖 QW. 小島 聖 QX. 小島 聖 QY. 小島 聖 QZ. 小島 聖
 RA. 小島 聖 RB. 小島 聖 RC. 小島 聖 RD. 小島 聖 RE. 小島 聖 RF. 小島 聖 RG. 小島 聖 RH. 小島 聖 RI. 小島 聖 RJ. 小島 聖 RK. 小島 聖 RL. 小島 聖 RM. 小島 聖 RN. 小島 聖 RO. 小島 聖 RP. 小島 聖 RQ. 小島 聖 RR. 小島 聖 RS. 小島 聖 RT. 小島 聖 RU. 小島 聖 RV. 小島 聖 RW. 小島 聖 RX. 小島 聖 RY. 小島 聖 RZ. 小島 聖
 SA. 小島 聖 SB. 小島 聖 SC. 小島 聖 SD. 小島 聖 SE. 小島 聖 SF. 小島 聖 SG. 小島 聖 SH. 小島 聖 SI. 小島 聖 SJ. 小島 聖 SK. 小島 聖 SL. 小島 聖 SM. 小島 聖 SN. 小島 聖 SO. 小島 聖 SP. 小島 聖 SQ. 小島 聖 SR. 小島 聖 SS. 小島 聖 ST. 小島 聖 SU. 小島 聖 SV. 小島 聖 SW. 小島 聖 SX. 小島 聖 SY. 小島 聖 SZ. 小島 聖
 TA. 小島 聖 TB. 小島 聖 TC. 小島 聖 TD. 小島 聖 TE. 小島 聖 TF. 小島 聖 TG. 小島 聖 TH. 小島 聖 TI. 小島 聖 TJ. 小島 聖 TK. 小島 聖 TL. 小島 聖 TM. 小島 聖 TN. 小島 聖 TO. 小島 聖 TP. 小島 聖 TQ. 小島 聖 TR. 小島 聖 TS. 小島 聖 TT. 小島 聖 TU. 小島 聖 TV. 小島 聖 TW. 小島 聖 TX. 小島 聖 TY. 小島 聖 TZ. 小島 聖
 UA. 小島 聖 UB. 小島 聖 UC. 小島 聖 UD. 小島 聖 UE. 小島 聖 UF. 小島 聖 UG. 小島 聖 UH. 小島 聖 UI. 小島 聖 UJ. 小島 聖 UK. 小島 聖 UL. 小島 聖 UM. 小島 聖 UN. 小島 聖 UO. 小島 聖 UP. 小島 聖 UQ. 小島 聖 UR. 小島 聖 US. 小島 聖 UT. 小島 聖 UY. 小島 聖 UZ. 小島 聖
 VA. 小島 聖 VB. 小島 聖 VC. 小島 聖 VD. 小島 聖 VE. 小島 聖 VF. 小島 聖 VG. 小島 聖 VH. 小島 聖 VI. 小島 聖 VJ. 小島 聖 VK. 小島 聖 VL. 小島 聖 VM. 小島 聖 VN. 小島 聖 VO. 小島 聖 VP. 小島 聖 VQ. 小島 聖 VR. 小島 聖 VS. 小島 聖 VT. 小島 聖 VU. 小島 聖 VV. 小島 聖 VW. 小島 聖 VX. 小島 聖 VY. 小島 聖 VZ. 小島 聖
 WA. 小島 聖 WB. 小島 聖 WC. 小島 聖 WD. 小島 聖 WE. 小島 聖 WF. 小島 聖 WG. 小島 聖 WH. 小島 聖 WI. 小島 聖 WJ. 小島 聖 WK. 小島 聖 WL. 小島 聖 WM. 小島 聖 WN. 小島 聖 WO. 小島 聖 WP. 小島 聖 WQ. 小島 聖 WR. 小島 聖 WS. 小島 聖 WT. 小島 聖 WU. 小島 聖 WV. 小島 聖 WW. 小島 聖 WX. 小島 聖 WY. 小島 聖 WZ. 小島 聖
 XA. 小島 聖 XB. 小島 聖 XC. 小島 聖 XD. 小島 聖 XE. 小島 聖 XF. 小島 聖 XG. 小島 聖 XH. 小島 聖 XI. 小島 聖 XJ. 小島 聖 XK. 小島 聖 XL. 小島 聖 XM. 小島 聖 XN. 小島 聖 XO. 小島 聖 XP. 小島 聖 XQ. 小島 聖 XR. 小島 聖 XS. 小島 聖 XT. 小島 聖 XU. 小島 聖 XV. 小島 聖 XW. 小島 聖 XX. 小島 聖 XY. 小島 聖 XZ. 小島 聖
 YA. 小島 聖 YB. 小島 聖 YC. 小島 聖 YD. 小島 聖 YE. 小島 聖 YF. 小島 聖 YG. 小島 聖 YH. 小島 聖 YI. 小島 聖 YJ. 小島 聖 YK. 小島 聖 YL. 小島 聖 YM. 小島 聖 YN. 小島 聖 YO. 小島 聖 YP. 小島 聖 YQ. 小島 聖 YR. 小島 聖 YS. 小島 聖 YT. 小島 聖 YU. 小島 聖 YV. 小島 聖 YW. 小島 聖 YX. 小島 聖 YY. 小島 聖 YZ. 小島 聖
 ZA. 小島 聖 ZB. 小島 聖 ZC. 小島 聖 ZD. 小島 聖 ZE. 小島 聖 ZF. 小島 聖 ZG. 小島 聖 ZH. 小島 聖 ZI. 小島 聖 ZJ. 小島 聖 ZK. 小島 聖 ZL. 小島 聖 ZM. 小島 聖 ZN. 小島 聖 ZO. 小島 聖 ZP. 小島 聖 ZQ. 小島 聖 ZR. 小島 聖 ZS. 小島 聖 ZT. 小島 聖 ZU. 小島 聖 ZV. 小島 聖 ZW. 小島 聖 ZX. 小島 聖 ZY. 小島 聖 ZZ. 小島 聖

D. ウィキペディア記事の活用
 ～ジゼトとセカイをつなげ方～
 C. 来年度の SUWAKO ベディアを一緒につくろう！
 ～主権継承者を囲む会～
 A. ウィキペディアタウンを開催するには？
 B. 地域資料の選び方と
 ウィキペディアの記事ができるまで

- ・ 図書館職員の中堅研修に位置づける「これからの公共図書館研究会」を本格始動。「サービス計画」「デジタル活用」「学びのプログラム・学校連携」「資料活用・レファレンス」の4部門を設け、県内公共図書館関係者108名が会員登録し、計13回のオンライン研究会を開催した。初任者研修との連動や、県関係者をゲストスピーカーとして招くなど、活動の幅を広げている。また、長野県図書館大会の分科会で、活動の実際を紹介した。
- ・ 初任者研修（レファレンス実習）は県内4地区での開催が実現した。
- ・ 林業総合センターが実施する「林業士入門講座」との連携により、地域情報の活用をベースとした一般向けリテラシープログラムを整えた。



「これからの公共図書館フォーラム」の新たな展開として、年間5回を計画、実施。サテライト会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催方式で、計220名ほどが参加した（延べ数）。

- 第1回「まちの記憶を記録する ～どこコレ？」のつくりかた～」
- 第2回「電子ブックってどんなもの？ ～「読む」「調べる」の新しい形を体験しよう～」
- 第3回「災害情報を明日へつなぐ ～地域の拠点としての図書館へ～」
- 第4回「信州の「はたらく」を考える」
- 第5回「WikipediaLIB@信州#04 ～ウィキペディアタウンのつくりかた～」

  	<p>③長野県における知と学びに関わる各種機関が、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。</p> <p>④広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信州大学の防災企画や、若里公園活用のトライアル・サウンディングの一端で開催されたイベント(fabpark)等とのタイアップによる取組を行った。 ・ 「信州・知の連携フォーラム」の継続実施を推進（令和 3 年度は長野県立歴史館が開催を担当）。新たな「提言」に向けての検討を行った。 また、信州大学附属図書館との交流研修（3 回目）を実施した。 北信、中信、佐久地区の公共図書館連絡会および研修会に出席し、オブザーバー、講師等を務めた。長野市の学校司書研修設計支援、松本市の公共図書館・学校司書合同研修会で講師を務め、学習者向けワークを提供した。
<p>(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進</p> <p>① 図書館機能の高度化の方策として、目録のデジタル化、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、コンテンツの電子化を強化し、これらを使いこなす学びのネットワーク化を推進する。</p> <p>② 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、レファレンスで多用する資料を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充する。新たに「長野県リポジトリ（仮称）」を立ち上げ、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。</p> <p>③ 災害時でも学びが継続できる手段を確保し、図書館利用の地域的・身体的なバリアフリー化を実現するために、ICT による付加価値のある学びのコンテンツとして、市町村図書館と連携した全県的な「電子書籍サービス」の新規導入について検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当館資料108点のデジタル化を外部委託により実施。引き続き優先順位をつけて取り組んでいく。 ・ 「信州デジタルコモンズ」について、運営規程を作成し新規参加機関を募集した（資料 2-3、2-4 参照）。 ・ 「eReading」は、2 町村から地域学習資料の掲載提案を受け進行中。 ・ 「信州ナレッジスクエア」の連携先機関として「信州デジタルコモンズ」「伊那市デジタルアーカイブ」を追加した。「長野県リポジトリ（仮称）」については専門業者と仕組みを検討中であり早期立ち上げに努めたい。 ・ 先端技術活用推進協議会（県・DX推進課所管）の下にWGを設置し、2月8日時点で76団体（19市23町30村+2広域連合+自治振興組合+県） ・ 一般書の電子書籍サービス（市町村との協働電子図書館）について、R4年8月のサービスインを目標として、公募型プロポーザルを実施。2月25日に公告。 (https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/nw/news/osirase_220225.html) ・ 専門書の電子書籍サービスは県立図書館単独で8月のサービスインの予定。 (詳細は資料 3 - 1 を参照) 		

Ⅲ 統計資料(令和3年度実績)

1 利用状況

(1) 入館者数及び開館日数

(単位：人)

項目	令和2年度 (271日)	令和3年度 (279日)	平日 (173日)		土日 (95日)		祝日 (11日)		
			利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	
			入館者数	253,546	260,095	149,213	863	98,135	1,033
参考	会議・施設見学等※	2,225	3,951	3,400	20	495	5	56	5
	一般図書室	163,499	131,002	78,804	456	46,465	489	5,733	521
	児童図書室	49,458	72,407	35,882	207	32,716	344	3,809	346
	信州・学び創造ラボ	60,222	48,371	25,606	148	19,768	208	2,997	272
	会議室	43,548	33,200	16,699	97	14,417	152	2,084	189

注：（ ）内は開館日数。平成23年度から祝日開館実施。（土日の祝日も含む。）

※会議・施設見学等について、オンライン開催含む。

(2) 登録者の状況

(単位：人)

項目	新規登録者		登録者累計 (令和3度末)			
	令和2年度	令和3年度	男	女	計	
総数	2,539	2,704	40,021	56,710	96,731	
内訳	一般	2,023	2,031	37,546	53,889	91,435
	児童	516	673	2,475	2,821	5,296
インターネットサービス登録者	332	361	3,508			

(3) インターネット予約貸出の状況

(単位：件、冊)

項目	令和2年度		令和3年度	
	件数	冊数	件数	冊数
当館受取	950	2,616	1,170	2,896
指定館受取	437	1,242	539	1,531
計	1,387	3,858	1,709	4,427

(4) 資料の貸出状況

(単位：冊)

項目	令和2年度			令和3年度		
	一般図書	児童図書	合計	一般図書	児童図書	合計
総数	45,387	53,912	99,299	45,502	63,510	109,012
0 総記	1,681	416	2,097	2,109	463	2,572
1 哲学	3,009	596	3,605	2,912	656	3,568
2 歴史	5,132	1,223	6,355	5,019	1,376	6,395
3 社会科学	7,100	1,336	8,436	7,363	1,434	8,797
4 自然科学	6,276	3,627	9,903	6,416	4,590	11,006
5 技術	4,760	1,634	6,394	4,461	1,932	6,393
6 産業	3,323	714	4,037	3,195	877	4,072
7 芸術	4,152	2,544	6,696	4,259	2,889	7,148
8 言語	765	619	1,384	836	718	1,554
9 文学	9,093	9,370	18,463	8,841	10,362	19,203
E (絵本)	0	31,814	31,814	0	38,207	38,207
その他	96	19	115	91	6	97

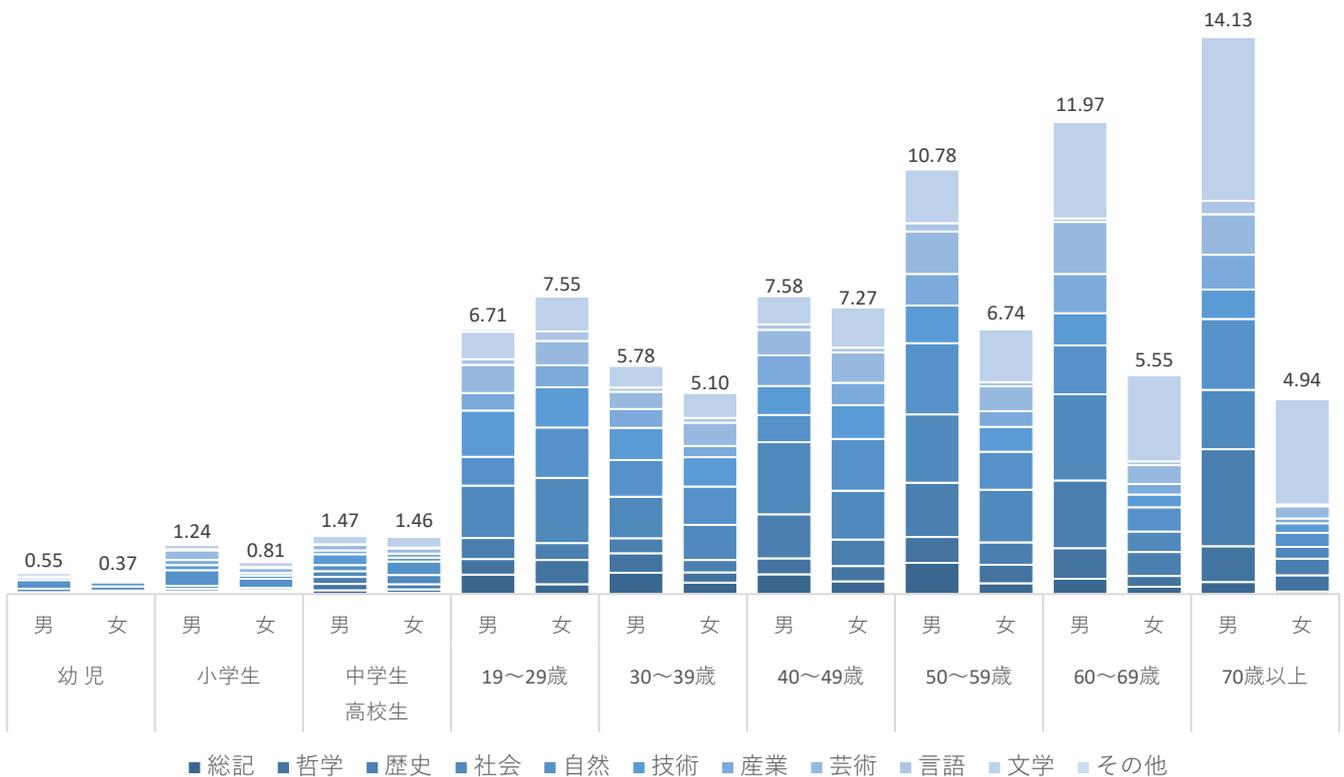
令和3年度 図書一般延べ貸出冊数 45,502冊に対する年齢層別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類											計
		0総記	1哲学	2歴史	3社会	4自然	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学	その他	
幼児	男性	5	7	10	42	97	31	13	36	3	7	1	252
	女性	10	9	4	16	50	47	7	14	1	11	0	169
小学生	男性	18	13	29	35	181	57	58	113	10	51	0	565
	女性	16	17	15	25	104	34	32	57	12	57	0	369
中学生 高校生	男性	45	72	83	64	69	126	45	62	8	94	0	668
	女性	13	43	56	106	155	47	45	61	9	126	1	662
19～29歳	男性	224	180	243	605	331	531	204	323	66	317	29	3,053
	女性	114	278	197	751	580	462	257	280	109	405	2	3,435
30～39歳	男性	247	225	171	480	422	372	215	201	47	251	0	2,631
	女性	130	119	144	405	440	341	127	271	53	291	1	2,322
40～49歳	男性	227	183	509	833	310	335	356	292	65	325	15	3,450
	女性	148	174	307	564	594	392	256	348	56	463	5	3,307
50～59歳	男性	359	298	627	786	822	435	364	488	96	621	9	4,905
	女性	125	214	257	607	438	288	178	289	47	609	14	3,066
60～69歳	男性	175	356	780	991	564	370	453	600	40	1,112	5	5,446
	女性	83	126	277	233	281	146	124	217	41	995	2	2,525
70歳以上	男性	140	412	1,118	685	817	337	403	467	153	1,891	5	6,428
	女性	30	186	192	135	161	110	58	140	20	1,215	2	2,249
計	男性	1,440	1,746	3,570	4,521	3,613	2,594	2,111	2,582	488	4,669	64	27,398
	女性	669	1,166	1,449	2,842	2,803	1,867	1,084	1,677	348	4,172	27	18,104
	男女計	2,109	2,912	5,019	7,363	6,416	4,461	3,195	4,259	836	8,841	91	45,502

※1 9類（文学）には、Fラベルの資料冊数も含む。

令和3年度 図書一般延べ貸出冊数 45,502冊に対する年齢層別・分類別シェア（%）



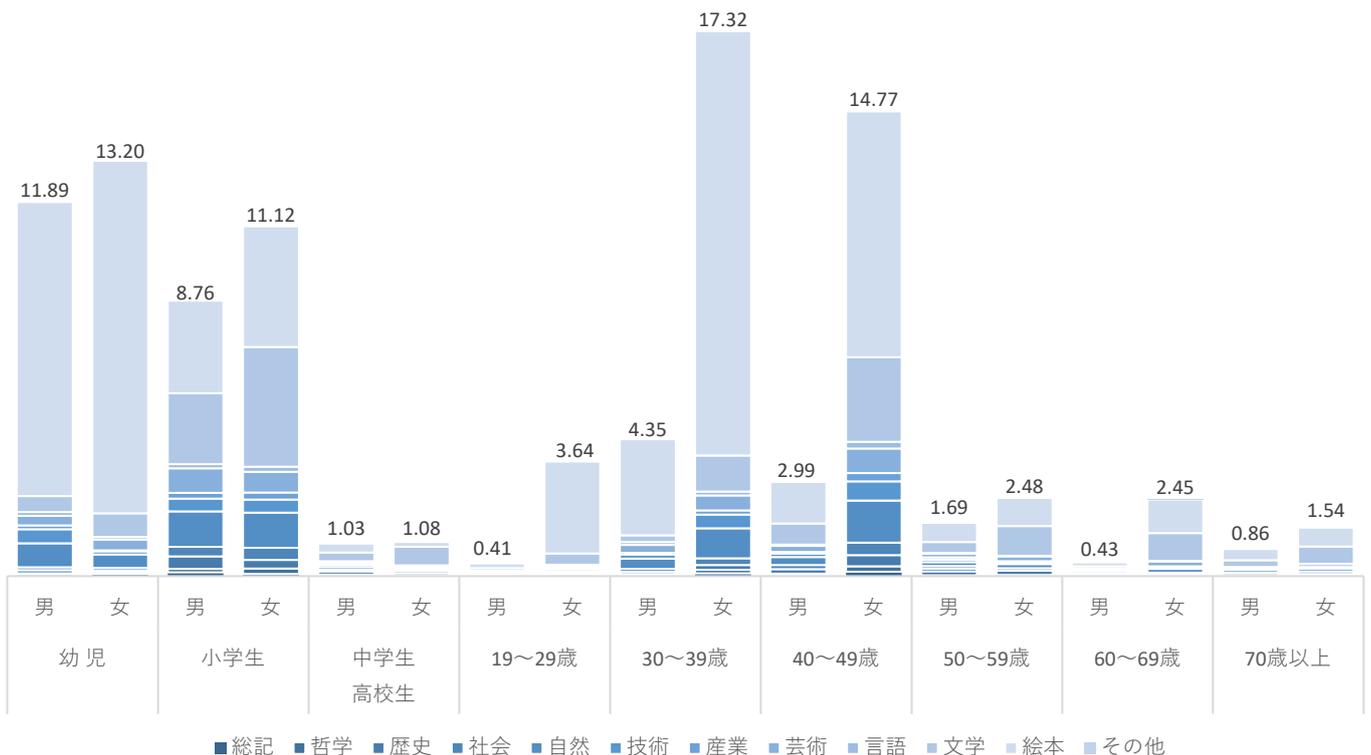
令和3年度 図書児童延べ貸出冊数 63,510冊に対する年齢層別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類												計
		0総記	1哲学	2歴史	3社会	4自然	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学	絵本	その他	
幼児	男性	31	25	66	59	478	285	77	196	79	318	5,937	0	7,551
	女性	44	33	35	52	274	61	21	219	51	476	7,120	0	8,386
小学生	男性	73	75	251	192	716	260	111	500	86	1,426	1,874	0	5,564
	女性	46	106	177	240	713	265	141	420	104	2,410	2,439	0	7,061
中学生 高校生	男性	6	22	64	41	55	44	15	42	13	171	183	0	656
	女性	6	12	46	45	46	8	12	30	14	371	96	0	686
19～29歳	男性	1	4	10	23	25	15	4	19	7	54	95	0	257
	女性	12	15	24	35	50	26	35	30	6	225	1,852	0	2,310
30～39歳	男性	19	23	46	60	205	85	33	158	58	139	1,937	0	2,763
	女性	57	73	93	136	607	274	86	304	75	730	8,566	0	11,001
40～49歳	男性	26	24	87	86	165	69	34	120	22	431	834	0	1,898
	女性	90	108	227	251	848	389	170	494	133	1,707	4,962	0	9,379
50～59歳	男性	19	78	57	50	77	54	45	67	20	223	386	0	1,076
	女性	8	16	82	51	88	23	36	91	14	598	568	0	1,575
60～69歳	男性	5	10	12	21	50	12	18	19	8	41	77	0	273
	女性	8	17	14	31	76	35	16	97	16	559	678	6	1,553
70歳以上	男性	11	11	45	12	58	6	10	26	8	133	225	0	545
	女性	1	4	40	49	59	21	13	57	4	350	378	0	976
計	男性	191	272	638	544	1,829	830	347	1,147	301	2,936	11,548	0	20,583
	女性	272	384	738	890	2,761	1,102	530	1,742	417	7,426	26,659	6	42,927
	男女計	463	656	1,376	1,434	4,590	1,932	877	2,889	718	10,362	38,207	6	63,510

※1 9類（文学）には、Fラベルの資料冊数も含む。

令和3年度 図書児童延べ貸出冊数 63,510冊に対する年齢層別・分類別シェア（％）



(5) 書庫資料の利用状況

(単位：冊)

項目	令和2年度				令和3年度			
	一般資料	郷土資料	児童資料	合計	一般資料	郷土資料	児童資料	合計
総数	11,751	4,063	7,083	22,897	11,313	4,718	6,925	22,956
0 総記	290	40	17	347	312	32	17	361
1 哲学	721	33	30	784	579	34	35	648
2 歴史	1,443	1,124	129	2,696	971	1,285	107	2,363
3 社会科学	1,353	373	58	1,784	1,140	604	81	1,825
4 自然科学	583	60	213	856	617	130	273	1,020
5 技術	573	155	108	836	434	96	139	669
6 産業	341	97	53	491	315	139	78	532
7 芸術	688	103	252	1,043	598	106	265	969
8 言語	177	6	37	220	178	2	37	217
9 文学	3,739	91	2,058	5,888	3,200	123	1,959	5,282
E (絵本)	0	0	3,988	3,988	0	0	3,924	3,924
新聞・雑誌他	1,843	1,981	140	3,964	2,969	2,167	10	5,146

(6) データベースの利用および複写の状況

(単位：人、枚、回)

項目	令和2年度				令和3年度			
	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数
電子複写機	2,307	31,683			2,272	29,295		
マイクロフィルム	13	119			7	28		
官報情報検索	26	54	-	-	8	3	-	-
法情報総合データベース	16	514	88	158	16	201	190	218
信濃毎日新聞データベース※1	370	2,573	2,213	37,245	285	3,255	2,139	28,464
聞蔵II (朝日新聞) ※2	92	329	477	-	49	275	334	-
日経テレコン21	42	161	-	-	25	55	-	-
毎索	36	29	173	257	17	50	163	294
ヨミダス歴史館	58	197	123	1,593	24	94	76	856
中日新聞・東京新聞記事データベース	78	18	91	1,390	39	65	64	969
市場情報評価ナビ	2	0	18	-	0	0	15	-
magazineplus	36	17	103	284	11	41	40	93
J-DreamⅢ	38	827	147	463	27	606	93	496
ジャパンナレッジ	75	2	143	791	8	0	173	1,289
ルーラル電子図書館	3	12	54	301	7	29	43	180
ポプラディアネット	23	0	-	-	36	0	-	-
国立国会図書館デジタルコレクション	111	2,357			102	1,970		
信州デジタルコモンズ (旧・信州デジくら)	3	9			2	4		
写真撮影	50	-			79	-		
郵送複写	125	2,425			166	5,947		
他館所蔵資料複写取次	25	-			21	-		

※1 令和3年4月から信濃毎日新聞のログイン数と検索回数を記載。

※2 ログイン回数はビジター状態を含む

※ログイン回数と検索回数は、当館利用者と職員による回数を含む。

※利用者数には複写をしていない利用者を含む。

(7) 相互貸借の利用状況

ア 相互貸借の状況

(単位：冊)

区 分		令和2年度			令和3年度		
		貸出冊数	借受冊数	合計	貸出冊数	借受冊数	合計
合計		3,283	220	3,503	4,262	408	4,670
県 内	公共図書館	1,246	123	1,369	1,432	201	1,633
	公民館図書室	440	0	440	449	12	461
	学校図書館	1,419	12	1,431	2,160	55	2,215
	計	3,105	135	3,240	4,041	268	4,309
県 外	公共図書館	168	84	252	170	122	292
	学校図書館	10	1	11	10	18	28
	計	178	85	263	180	140	320

※相互貸借の対象機関は公共図書館・大学図書館・県内所在の高校図書館・公共図書館未設置自治体における公民館図書室および学校図書館。

イ 送料の支援状況

(単位：件)

区 分		令和2年度			令和3年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県 内	計	1,070	941	2,011	1,189	977	2,166
	公共図書館	618	573	1,191	692	584	1,276
	公民館図書室	144	108	252	147	91	238
	学校図書館	308	260	568	350	302	652

※公共図書館、図書館未設置町村の公民館図書室及び小・中学校、公立・私立高等学校等、大学は往復送料を当館が負担。

その他の学校図書館は、貸出分の送料を負担している。

※県外の相互貸借の送料については、依頼した施設が送料負担となる。

(8) 団体貸出の利用状況

ア 団体貸出の状況

区分	令和2年度	令和3年度
件数	24	26
貸出冊数	52	41

イ 送料の支援状況

区 分	令和2年度			令和3年度		
	貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県内の対象機関	11	3	14	12	4	16

※団体貸出の対象機関は議会図書館・県内博物館及び美術館・病院図書室・長野県の組織及び機関・その他館長が認めた団体。

※令和2年4月より県立長野図書館利用規程を修正、令和元年度の件数等は新利用規程に従って数値を算出したもの。

(9) マイクロフィルムの利用状況

項目	令和2年度	令和3年度	(単位：件、本)
利用件数	13	7	
利用本数	45	35	

(10) インターネット端末の利用状況（設置台数 PC:2台 タブレット:8台）

項目		令和2年度	令和3年度	(単位：人)
利用者数	PC	1,390	859	
	タブレット	1,474	1,132	

(11) 複製物・デジタルコンテンツ使用の許可状況

項目		令和2年度	令和3年度	(単位：件)
許可件数	複製物	※		
	デジタルコンテンツ	1※		

※複製物の使用許可について、令和2年度から利用者自身で許可申請してもらうため廃止。

※デジタルコンテンツの使用は、令和2年4月に「信州デジくら」から「信州デジタルcommons」に移行後は原則申請不要。

(令和2年度の1件は知事部局作成の動画の複製配布)

(12) ホームページのアクセス状況

県立長野図書館のホームページ (<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>)へのアクセス状況
(単位：件)

項目	令和2年度	令和3年度	対前年度比 (%)
トップページ	176,279	183,767	104.2
県立長野図書館のいま	18,415	13,772	74.8
本・情報をさがす	31,010	32,408	104.5
レファレンスサービス	1,183	1,338	113.1
県立長野図書館をつかう	17,873	17,612	98.5
利用案内	12,465	13,419	107.7
つながる信州の図書館	7,890	7,253	91.9
信州ナレッジスクエア トップページ	121,495	91,325	75.2
Shinshu Book Search (長野県内図書館横断)	101,175	123,476	122

※2020年3月、図書館システム更新およびホームページ変更。

2 図書館資料の状況

(1) 図書資料購入及び蔵書の状況

(単位：冊)

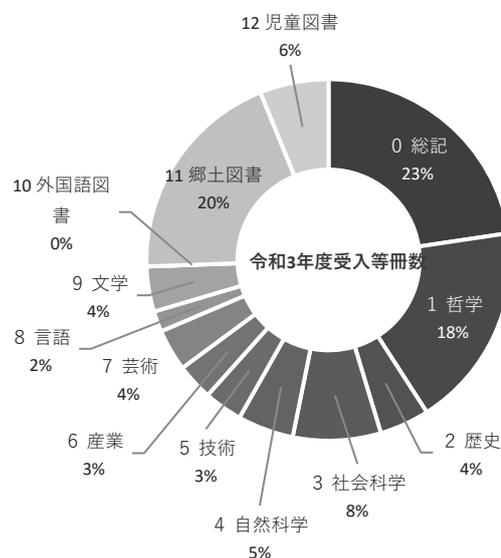
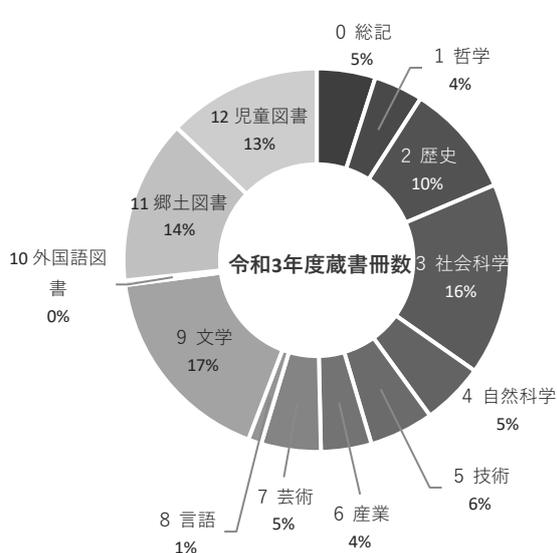
	令和2年度	令和3年度				
	蔵書冊数	蔵書冊数	開架冊数	増加数	受入数	除籍
0 総記	32,243	36,709	7,605	4,466	4,467	1
1 哲学	27,148	30,762	7,677	3,614	3,615	1
2 歴史	70,524	71,393	9,023	869	873	4
3 社会科学	119,486	121,022	13,581	1,536	1,541	5
4 自然科学	38,250	39,227	10,545	977	982	5
5 技術	39,597	40,270	8,187	673	674	1
6 産業	30,968	31,605	5,747	637	644	7
7 芸術	36,519	37,251	7,618	732	736	4
8 言語	8,019	8,383	2,563	364	364	0
9 文学	127,403	128,190	10,887	787	797	10
10 外国語図書	2,868	2,868	0	0	0	0
11 郷土図書	99,453	103,296	13,824	3,843	3,843	0
12 児童図書	95,050	96,164	25,673	1,114	1,206	92
計	727,528	747,140	122,930	19,612	19,742	130

※10外国語資料は、一般図書と児童図書に分類される資料の合計値。

<令和3年度図書資料の内訳>

(単位：冊)

	一般図書			郷土図書			児童図書		
	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍
0 総記	344	4,123	1	70	113	0	134	2	1
1 哲学	419	3,196	1	53	53	0	14	0	0
2 歴史	655	218	4	313	562	0	90	9	2
3 社会科学	1,145	396	5	200	622	0	103	21	6
4 自然科学	931	51	5	84	73	0	139	7	6
5 技術	508	166	1	86	131	0	62	5	7
6 産業	502	142	7	91	363	0	32	2	0
7 芸術	461	275	4	189	500	0	333	18	59
8 言語	344	20	0	4	6	0	77	0	0
9 文学	297	500	10	198	132	0	152	6	11
10 外国語図書	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5,606	9,087	38	1,288	2,555	0	1,136	70	92



(2) 新聞・雑誌の所蔵状況

令和3年度受入数

項目	一般		郷土		児童	外国語	計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	購入	購入	寄贈	
新聞	13	31	20	31	1	0	34	62	96
雑誌	135	229	29	363	13	4	181	592	773
追録	4	0	3	0	0	0	7	0	7

(令和4年3月31日現在)

(3) 貴重資料コレクション

近世(江戸時代)の信濃に関する古文書等(主に俳書)が収められています。

名称	点数	説 明
関口文庫	192	関口彦一郎(1879~1958)収集の信濃関係俳諧書資料で、小林一茶・茂呂何丸・加舎白雄・宮本天姥・倉田葛三・井上井月ら信濃の代表的俳人及び善光寺俳壇の俳書を収める。
威徳院文庫	76	林亮順(1868~1941)が収集した信濃関係俳書を収める。宮本天姥・倉田葛三・今井柳荘をはじめ、主として長野県北信地方の俳人の俳書が集められている。

(4) マイクロフィルム等の所蔵状況

新聞・郷土資料などをマイクロフィルム化することにより、原資料の劣化を防ぎ、閲覧や複写サービスの向上に努めています。

(*マイクロフィッシュは、シート状のフィルムに關係資料が撮影されたものです。)

		資料名	所蔵内容	フィルム数
マイクロフィルム	新聞	信濃毎日新聞	明治6年7月~平成25年12月	1,535
		"(欠号集)	明治8年5月~昭和27年12月	15
		朝日新聞	明治21年7月~平成25年12月	2,128
		"(長野県版)	昭和28年1月~平成25年12月	106
		毎日新聞	明治5年2月~平成25年12月	2,159
		"(長野県版)	昭和2年1月~平成25年12月	135
		読売新聞	明治7年1月~平成25年12月	1,830
		"(長野県版)	昭和8年5月~平成25年12月	151
		"(欠号集)	明治7年12月~昭和20年12月	38
	長野新聞	明治32年4月~大正9年12月	45	
		小計		8,142
	郷土	信濃教育	第1号(明治19年10月)~第780号(昭和26年12月)	33
		長野県統計書	明治6年~昭和12年	22
		府県資料長野県		3
		東大明治新聞雑誌文庫所蔵		31
		石坂家文庫		14
		内閣文庫所蔵筆記		1
		国文学資料館蔵関口文庫		8
		国文学資料館蔵威徳院文庫		2
		丸山文庫		59
		飯島文庫		19
		農商務省小作慣行調査報告	<中部編1>長野県	14
		日本林制史調査資料	中部 松代藩 1~5	5
		花月文庫		287
		明治年間府県統計書集成	明治8年~明治45年	10
		大正・昭和年間府県統計書集成	大正2年~昭和13年	12
		小計		520
	その他	太政官日記	慶応4年~明治9年	11
		官報	明治16年7月~平成25年12月	1,600
信濃教育会図書館時代 特殊収集近世資料		国文学資料館所蔵分	10	
	小計		1,621	
	合計		10,283	
フィッシュ	郷土	プランゲ文庫雑誌コレクション 長野県関係	昭和20年~昭和24年 275タイトル	1,011

(令和4年3月31日現在)

(5) 16ミリ映画フィルムの所蔵及び貸出状況

<所蔵及び貸出状況>

(単位:本)

項目	所蔵状況		貸出状況	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
16ミリ映画フィルム	2,260	2,260	5	0
ビデオテープ	3,036	3,036	5	0
DVD	179	179	7	0
合計	5,475	5,475	17	0

※県内所在の団体を対象に貸出(個人貸出不可)。1回の貸出点数は5点まで、貸出期間は10日間。

IV 県立長野図書館協議会

1 概要

県立長野図書館協議会は、図書館法第 14 条及び県立長野図書館条例第 3 条の規定により設置され、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる。

2 令和 3 年度開催状況

○令和 3 年 7 月 16 日(金)

会議事項 県立長野図書館の現況について
「県立長野図書館のミッション・ビジョン」について
電子書籍サービス導入に向けて
「信州ナレッジスクエア」の進捗について

○令和 4 年 3 月 2 日(水)

会議事項 コロナ禍における県内図書館の運営状況について
県立長野図書館のミッション・ビジョンについて
協働電子図書館について
令和 4 年度県立長野図書館予算について

3 委員名簿（令和 4 年 3 月 31 日現在）

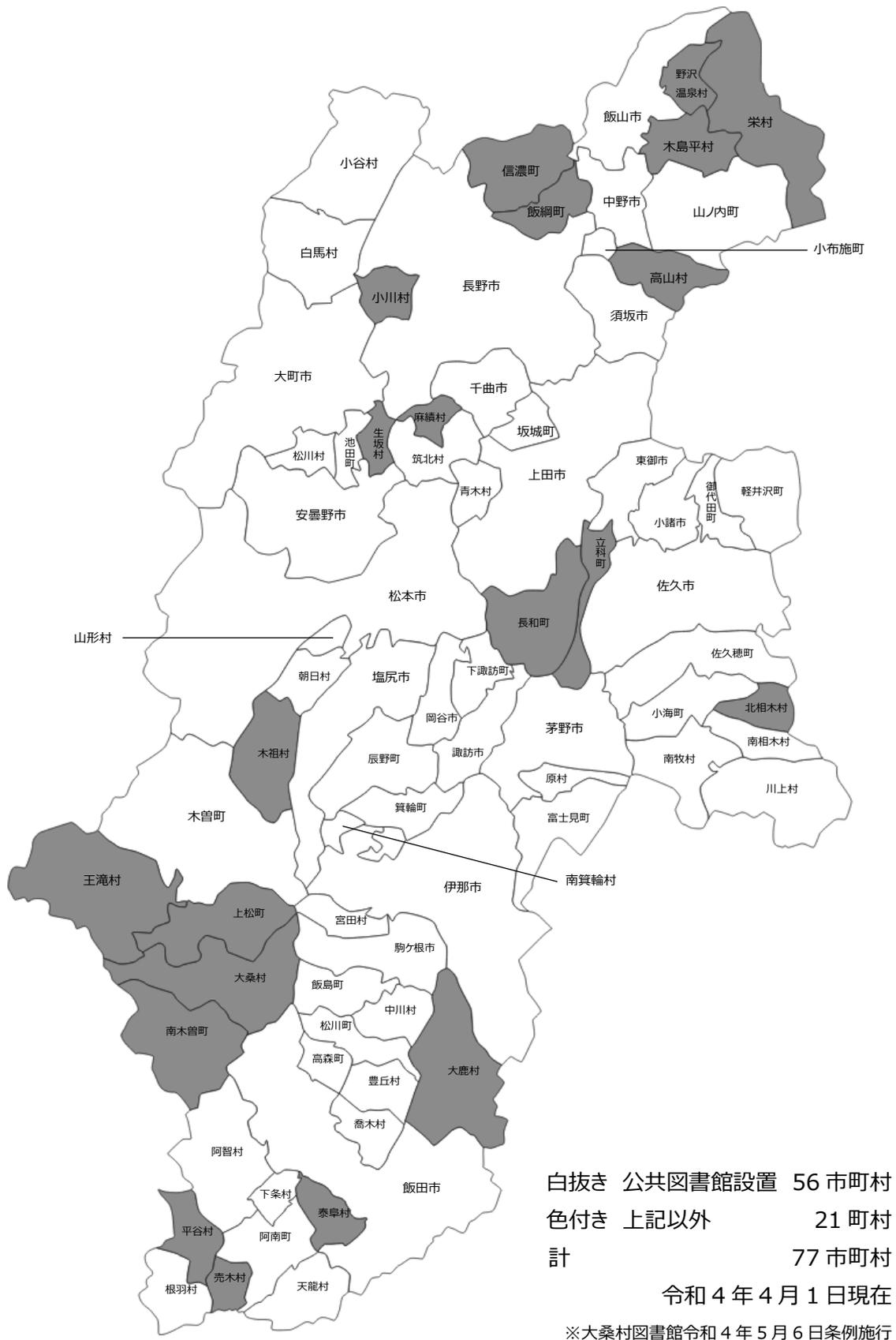
（敬称略、五十音順）

職	氏名	所属・職名等
会長	渡邊 匡一	信州大学人文学部 教授
委員	内山 由香里	長野県伊那北高等学校 教諭
	大林 晃美	NPO法人本途人舎 代表理事
	春日 由紀夫	駒ヶ根市立図書館 館長
	西山 卓郎	株式会社バリューブックス 社員
	平賀 研也	日本大学芸術学部 非常勤講師
	松山 佳奈子	ゆめサポママ@ながの
	棟田 聖子	松川村図書館 館長

（任期 令和 3 年 1 月 1 日から令和 4 年 12 月 31 日まで）

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況



2 県立長野図書館の沿革

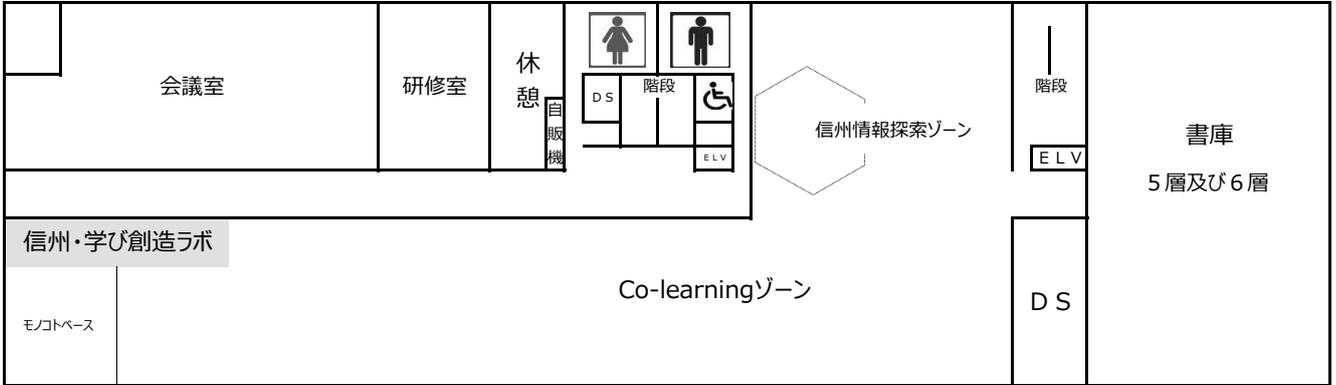
年	西暦	月	
明治40	1907	6	信濃教育会により信濃図書館が設置される
大正13	1924	12	信濃教育会による明治44年以來の県立図書館設置運動が実り、臨時県議会において昭和天皇御成婚記念事業として県立図書館設置が可決
昭和 4	1929	8	長野市長門町に県立長野図書館開館（工費24万円、3階建、延べ床面積2,397.78㎡） 信濃図書館の蔵書のほとんどが寄贈される 開館当初から個人貸出を行う
昭和 7	1932		「団体携出」の名称で、官公署・学校等へ団体貸出を開始（昭和26年発展的解消）
昭和 8	1933	10	改正図書館令により、長野県の中央図書館に指定される
昭和 9	1934	6	「県立長野図書館報」創刊（昭和19年に数回の改題を経て終刊）
昭和11	1936		県下青年を対象とした貸出文庫を設け、県内へ発送を始める
昭和14	1939	12	『県立長野図書館10年史』刊行
昭和18	1943	11	帝国図書館の蔵書疎開が行われ、約133,400冊もの貴重な資料が翌年まで当館に保管される （昭和21年3月返戻）
昭和20	1945	3	書庫・事務室・館長室以外を長野高等女学校の学校工場（陸軍被服廠縫製工場）に使用するため、館内閲覧中止（翌昭和21年4月再開）
昭和24	1949	11	「第1回長野県図書館普及運動」を開催
昭和25	1950	12	「県立長野図書館条例」公布施行 「PTA母親文庫」を創設
昭和26	1951	3	図書館協議会が発足 「第1回長野県図書館大会」開催（上田市）
昭和34	1959	9	「本を読む母親の全国大会」開催（長野市）
		11	創立30周年、『県立長野図書館三十年史』刊行
昭和36	1961	10	2課制から4課制になり、調査相談課が設置される
昭和37	1962	3	新書庫が建設され、収容冊数が7万冊から約15万冊へ増加する
昭和39	1964	9	小冊子『調査相談の事例』刊行、配布
昭和42	1967	9	複写サービスを開始 マイクロフィルムを導入
昭和44	1969	10	「全国図書館大会」開催
昭和52	1977	10	『長野県郷土資料総合目録』を刊行
昭和54	1979	8	創立50周年、長野市若里へ新館を建設し移転 工費16億7千万円、地下1階地上3階建、延べ床面積8,614㎡ 旧館の魯桃桜9本も移植される
昭和56	1981	2	『県立長野図書館五十年史』刊行
平成 3	1991		館内改修工事を行い、郷土資料室を解体し閲覧室に資料を移動、空いた元郷土資料室は貸出室・親子読書室へ変更
平成 5	1993	3	電算システム導入（受入、貸出、検索、資料情報管理等）
平成 6	1994		古文書約15,000点を長野県立歴史館へ移管
平成12	2000		「第30回児童に対する図書館奉仕全国研究集会」開催
平成13	2001		コイン式コピー機を導入
平成14	2002	2	当館ホームページ開設、WebOPAC（インターネット上の蔵書検索）稼働
平成15	2003	2	「PTA母親文庫」を改めた「長野県PTA親子読書推進の会」発足（平成26年3月31日解散）

年	西暦	月	
平成16	2004	2	外国籍住民のための外国語資料（ブラジル・中国・韓国・フィリピン・タイ）の受入・貸出を開始
		5	組織改正が行われ、4課制（総務課・整理課・調査閲覧課・貸出視聴覚課）から3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）となる
		5	移動絵本図書館車「おはなしばけっと号」を導入（平成21年事業終了）
		7	貸出対象図書を27万冊から47万冊へ拡大し、児童図書室、一般図書室を設置
平成17	2005	4	国立国会図書館「レファレンス協同データベース事業」へ本格参加
平成18	2006	2	『県立長野図書館メールマガジン』創刊（平成28年1月配信停止）
		6	「信濃毎日新聞アーカイブス」（現「信濃毎日新聞データベース」）導入
平成19	2007	12	「官報情報検索サービス」導入
平成21	2009	3	インターネット予約貸出サービス開始 長野県内公共図書館横断検索システム導入
		9	耐震診断実施
平成22	2010	4	「コーラル文庫」開設（平成29年児童室改修に伴い分散配架）、「信州デジくら」運用開始
平成23	2011	4	祝日開館を試行実施 「第一法規判例体系データベース」（現「法情報総合データベース」）導入
		12	館内の冷暖房設備を全面改修
平成24	2012	4	祝日開館を実施
		6	「関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会」開催
平成26	2014	1	「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」導入
平成27	2015	2	耐震工事（7月まで）
		4	図書館改革のため、館長を任期付職員で登用
平成28	2016	6	新聞雑誌スペースを研修・ワークショップスペースに改修 「聞蔵II(朝日新聞データベース)」「日経テレコン21」導入
平成29	2017	6	「ルール電子図書館」、「magazineplus」(令和4年3月末契約終了)、「ジャパンレッジ」、「毎案」、「J-DreamⅢ」、「ヨミダス歴史館」、「ポプラディアネット」（令和4年3月末サービス終了）、「市場情報評価ナビMieNa」導入
		8	外壁改修工事（12月まで）
		10	「ネーミング・ライツ・パートナー(株式会社内田洋行)」の導入及び「知識情報ラボUCDL(ウチデル)」のオープン（令和2年9月終了）
平成30	2018	3	床・階段改修、児童図書室改修（リニューアル）
		4	「中日新聞・東京新聞記事データベース」導入
平成31	2019	3	児童図書室に体験・発見コーナー設置（子どもの未来支援基金活用）、一般図書室書架・空間等の大規模リニューアル
		4	「信州・学び創造ラボ」の開設、児童図書室にて体験遊具(ストライダー等)の貸出開始
令和元	"	11	「Library of the Year 2019」優秀賞受賞
令和2	2020	4	信州・知のポータル「信州ナレッジ・スクエア」を開設
令和3	2021	4	3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）から2課4係制（総務企画課・資料情報課）へ組織変更、副館長配置 閉架書庫棟6階整備工事竣工

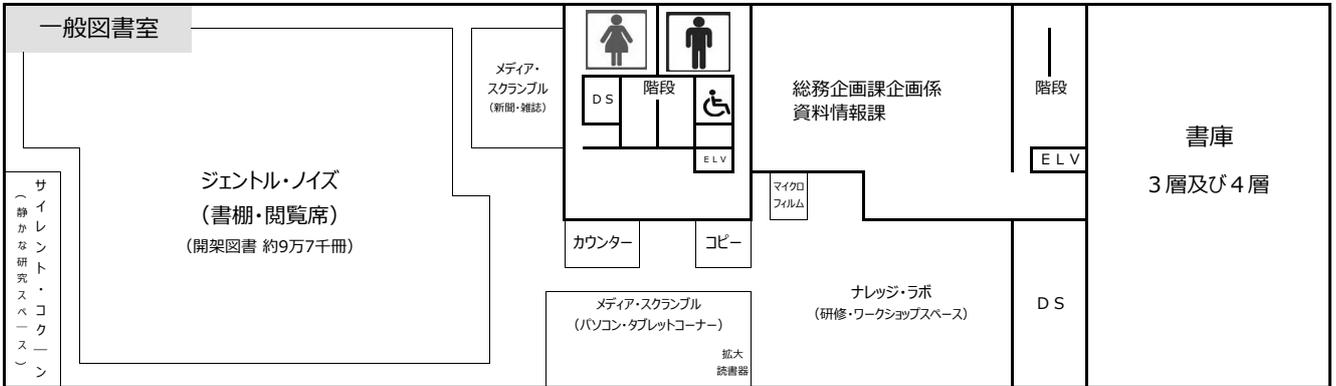
3 施設概要

所在地	長野市若里1丁目1番4号
開所	昭和54年(1979年)8月(移転新築) ※昭和4年(1929年)8月設置
敷地	6,152㎡(建物区画4,243㎡ 利用者駐車場1,909㎡(80台(うち障がい者等用3台))
建物	RC(地上3階地下1階) 8,681㎡(本館8,614㎡、公用車庫67㎡)

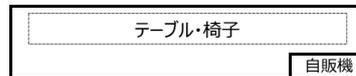
3階



2階



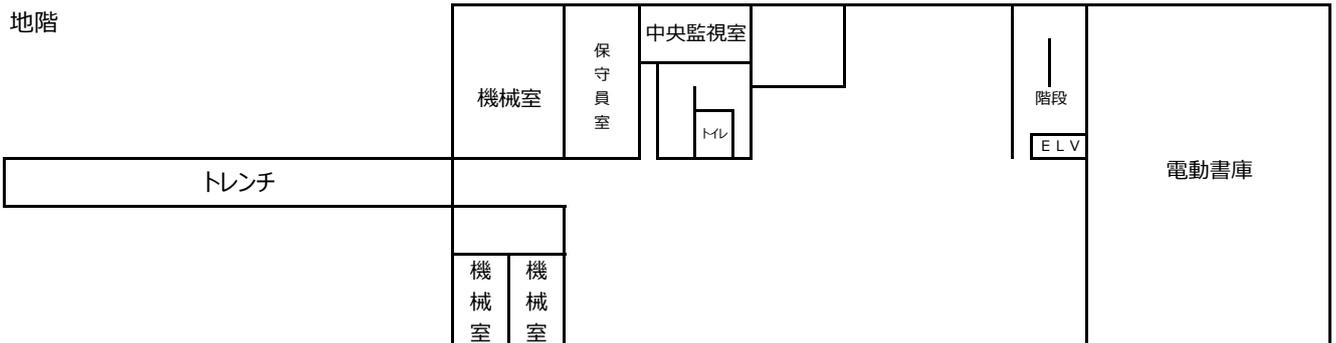
中2階休憩室



1階



地階



4 利用案内

(1) 開館時間

階	施設名	土・日・祝日	火～金曜日
1階	児童図書室	9:00～17:00	
2階	一般図書室	9:00～17:00	9:00～19:00
3階	信州・学び創造ラボ	10:00～19:00	10:00～21:00 (5月～10月) 10:00～20:00 (11月～4月)
	会議室 (供用)	9:00～19:00 (原則常時開放)	

(2) 休館日

- ・定例 毎週月曜日 (祝日 (振替休日) と重なる場合も休館。)
- ・蔵書整理日 毎月最終金曜日 (祝日の場合は前日の木曜日。)
- ・蔵書点検期間 (5月17日～5月31日)
- ・年末年始 (12月28日～翌年1月4日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、利用を制限することがあります。



《お問い合わせ等》

〒380-0928 長野市若里 1-1-4

URL : <https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

E-mail : ken-tosho@library.pref.nagano.jp

- 資料情報課 TEL(026)228-4921 FAX(026)291-6252
貸出延長、ネット貸出、相互貸借、レファレンス、寄贈受付、ほか
- 総務企画課 総務係 TEL(026)228-4500 FAX(026)228-4933
総合案内、予算、庶務、施設管理、ほか
- 企画係 TEL(026)228-4939 FAX(026)291-6252
図書館連携、研修事業、信州・学び創造ラボ、ほか

案内図

